

5 水 質 管 理

本章以降においては、便宜上、試験項目及び管理指標について次表の略称を使用する。

試 験 項 目 等	略 称	試 験 項 目	略 称
水素イオン濃度	pH	カドミウム及びその化合物、 カドミウム又はその化合物	カドミウム
溶存酸素量	DO	シアン化合物、全シアン	シアン
生物化学的酸素要求量	BOD	鉛及びその化合物、 鉛又はその化合物	鉛
化学的酸素要求量	COD	亜鉛含有量、 亜鉛及びその化合物	亜鉛
浮遊物質	SS	アルキル水銀化合物	アルキル水銀
窒素含有量	全窒素	ポリ塩化ビフェニル	PCB
燐含有量、リン含有量	全りん	有機リン化合物、 有機燐化合物	有機りん
活性汚泥浮遊物質	MLSS	セレン及びその化合物、 セレン又はその化合物	セレン
活性汚泥有機性浮遊物質	MLVSS	弗素含有量及びその化合物	ふっ素
返送汚泥浮遊物質	RSSS	砒素及びその化合物、 砒素又はその化合物	ひ素
返送汚泥有機性浮遊物質	RSVSS	ニッケル含有量、 ニッケル及びその含有量	ニッケル
活性汚泥沈降率	SV	2-クロロ-4,6-ビス(エチル アミノ)-s-トリアジン	シマジン
汚泥容量指標	SVI	S-4-クロロベンジル=N,N- ジエチルチオカルバマート	チオベン カルブ
汚泥密度指標	SDI	テトラメチルチウラム ジスルフィド	チウラム
生物反応タンク内混合液の 溶存酸素量	MLDO	フェノール類含有量	フェノール類
酸化還元電位	ORP	溶解性マンガン含有量	溶解性 マンガン
酸素利用速度係数	Kr	溶解性鉄含有量	溶解性鉄
好気タンク内混合液の 酸素利用速度	r _r	銅含有量、銅及びその化合物	銅
総括酸素移動容量係数	K _{La}	ノルマルヘキサン抽出物質含 有量、n-ヘキサン抽出物質	油分
蒸発残留物 (汚泥試験に限る)	固形分	六価クロム化合物	六価クロム
強熱減量 (汚泥試験に限る)	有機分	クロム含有量、クロム及び その含有量	全クロム
強熱残留物 (汚泥試験に限る)	無機分	ほう素含有量、硼素含有量	ほう素
化学的酸素要求量にかかる 汚濁負荷量	COD汚濁 負荷量	水銀及びアルキル水銀 その他の化合物、 水銀又はその化合物	総水銀
全窒素にかかる汚濁負荷量	T-N汚濁 負荷量		
全リンにかかる汚濁負荷量	T-P汚濁 負荷量		
生物反応タンク内 固形物滞留時間	SRT		
生物反応タンク内汚泥日令	SA		

(1) 概要

- ◎ 平成29年度の流入下水中のBOD、COD、SS、全窒素及び全りん濃度は下表のとおりである。状況としては平成28年度と比較して各濃度に大きな変化は見られなかった。
- ◎ 放流水の各濃度及び除去率も下表のとおりである。平成28年度と比較して、COD、全窒素は低めとなった。BOD、SSは同程度であり、りんはやや高めであり、除去率も低下した。
- ◎ 前年度に引き続き、電力、次亜塩素酸ソーダ、PACを主としたユーティリティ費削減を念頭に操作を行い、より効率的な除去を目指した運転管理が年間を通じて行なわれた。処理条件は年間平均値にて以下のとおりであった。

返送率：29.9%，送気倍率：3.2，循環率：26.6%，PAC注入率：0.36mg/L

(PAC注入率は年間使用量を年間処理水量で除したものである。PAC注入を実施した時間があった日は年間で184日であった。)

B、C、D、E系列での生物反応槽攪拌機の間欠運転や運転台数削減、及び循環ポンプの通日停止(主に夏季)・返送率の削減運転・加圧濃縮槽稼働台数削減運転等を主とした電力使用量削減運転を行ったが、固形燃料化設備の使用開始及びA系列の使用開始により、年間の原単位は前年度比で+8.9%であった。(電力使用量は+4.2%)

◎ 放流水の有害物質の排水基準項目や排出ガス・悪臭・産業廃棄物にかかる有害物質溶出試験等について、基準値の超過はなかった。汚濁負荷量については10月22日に流入下水量が約43万m³/日と想定流入水量(日最大流入水量)を大幅に上回り、窒素汚濁負荷量が3320.39kg/日(基準値3078.9kg/日)と、年間で唯一基準値を超過した。

項	目	単 位	平 成 29 年 度	平 成 28 年 度	平 成 27 年 度
流入下水	BOD	(mg/L)	136	132	119
	COD	(mg/L)	80.5	80.2	72.2
	SS	(mg/L)	108	113	97
	全窒素	(mg/L)	23.2	23.8	22.3
	全りん	(mg/L)	2.46	2.57	2.45
放 流 水	BOD	(mg/L)	2.6	2.7	2.2
	COD	(mg/L)	8.1	8.4	8.0
	SS	(mg/L)	<1	<1	<1
	全窒素	(mg/L)	8.2	8.7	8.9
	全りん	(mg/L)	1.26	1.21	1.25
除 去 率	BOD	(%)	98.1	98.0	98.2
	COD	(%)	89.9	89.5	88.9
	SS	(%)	100	100	100
	全窒素	(%)	64.7	63.4	60.1
	全りん	(%)	48.8	52.9	49.0

(2). 試験内容

ア 試験内容
 (ア) 水処理関係

試験名	試験回数	試料名	試験項目
平常試験1	2回/月	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、透視度、pH、DO(流入下水、 放流水のみ)、 BOD(流入下水、放流水のみ)、 炭素系BOD(放流水のみ)、 COD、SS、大腸菌群数(流入下水、 放流水のみ)、 残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)
平常試験2	2～3回/月	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、透視度、pH、DO(流入下水、 放流水のみ)、COD、SS、 残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)、 大腸菌群数(流入下水、 放流水のみ)
平常試験3	1回/週	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、透視度、pH、DO(流入下水、 放流水のみ)、 BOD(流入下水、放流水のみ)、 炭素系BOD(放流水のみ)、 COD、SS、 残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)
中試験	2回/月	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、透視度、pH、DO(流入下水、 放流水のみ)、BOD、 炭素系BOD(流入下水、分配井流出水、 初沈流出水を除く)、 溶解性BOD(放流水を除く)、COD、 溶解性COD(放流水を除く)、蒸発残留物、 強熱減量、SS、 大腸菌群数(分配井流出水を除く)、 全窒素、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、 硝酸性窒素、有機性窒素、全りん、 りん酸イオン態りん、アルカリ度、 残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)、 塩化物イオン、よう素消費量(流入下水のみ)、 硫酸イオン(流入下水のみ)

(ア) 水処理関係 続き

試験名	試験回数	試料名	試験項目
富栄養化試験	2回/月	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、全窒素、アンモニア性窒素、 亜硝酸性窒素、 硝酸性窒素、有機性窒素、全りん、 りん酸イオン態りん、 残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)、 塩化物イオン
活性汚泥試験	2回/週	生物反応槽混合液 返送汚泥	水温、MLSS、MLVSS、SV、SVI、 MLVSS/MLSS(%）、SDI、 浮上時間、pH(混合液は入口、出口)、 MLDO(混合液のみ、入口、出口)、 ORP(混合液のみ、入口、出口)
活性汚泥試験(Kr、r _r 等)	随時 (注1)	生物反応槽混合液	水温、Kr、r _r 、K _{La} 、MLSS、MLDO Kr [*] (ATU)、r _r (ATU)、K _{La} (ATU) (いずれも混合液、出口のみ)
活性汚泥生物試験	随時 (注2)	生物反応槽混合液	活性汚泥生物の定性
活性汚泥生物試験	1回/月 系列毎	生物反応槽混合液	活性汚泥生物の定量

(注1) 水処理状況が悪化傾向にあると判断されるときに実施する。

(注2) 概ね1回/月で実施(定量試験)するほかに、水処理状況が悪化又は回復傾向にあると判断されるときに実施する。(定性試験)

※ATUとはアリルチオ尿素の事であり、硝化作用を制御した分析に用いる試薬を指す。

(イ) 汚泥処理関係試験

試験名	試験回数	試料名	試験項目
汚泥・返送水試験	2回／月	汚泥 重力式濃縮槽： 濃縮汚泥 加圧浮上式濃縮槽： 濃縮汚泥 消化タンク： 円形一次移送汚泥 No.1卵形移送汚泥 No.2卵形移送汚泥 円形二次消化汚泥 脱水機： 供給汚泥 脱水ケーキ	温度(脱水ケーキを除く)、 pH(脱水ケーキを除く)、 固形分、含水率(脱水ケーキのみ)、 有機分、無機分、 アルカリ度(脱水ケーキを除く)、 揮発性有機酸(供給汚泥、脱水ケーキを除く)
		返送水 重力式濃縮槽： 分離液 加圧浮上式濃縮槽： 分離液 消化タンク： 脱離液 脱水機： 脱水ろ液 汚泥焼却炉： 焼却排水 急速ろ過棟： 急ろ洗浄排水	水温、pH、COD、蒸発残留物、 強熱残留物、強熱減量、SS、 溶解性物質、アルカリ度
汚泥・返送水中試験	4回／年 (毎四半期)	汚泥 汚泥・返送水試験 (汚泥)に同じ	温度(脱水ケーキを除く)、 pH(脱水ケーキを除く)、 固形分、含水率(脱水ケーキのみ)、 有機分、無機分、全窒素、全りん、 アルカリ度(脱水ケーキを除く)、 揮発性有機酸(供給汚泥、脱水ケーキを除く)
		返送水 汚泥・返送水試験 (返送水)に同じ 総合返送水	水温、pH、BOD、炭素系BOD、COD、 蒸発残留物、強熱残留物、強熱減量、 SS、溶解性物質、全窒素、 アンモニア性窒素、全りん、 りん酸イオン態りん、アルカリ度
消化ガス試験	1回／月	円形一次消化タンク No.1卵形一次消化タンク No.2卵形一次消化タンク 円形二次消化タンク 脱硫設備入口 脱硫設備中間 脱硫設備出口	メタン、水素、二酸化炭素、酸素、 窒素、硫化水素

(ウ) その他の試験

試験名	試験回数	試料名	試験項目
有害物質等試験	2回/月 流入下水で指定の項目については4回/年	流入下水 放流水	カドミウム、シアン、有機りん、鉛、六価クロム、ひ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チラウム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ほう素、ふっ素、ヘキサン抽出物質、フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガン、全クロム、ニッケル、1,4-ジオキサン、BOD、COD、全窒素、全りん、SS、大腸菌群数
管渠下水水質試験	2回/年	東幹線： 東部 北向日 南向日 羽束師 西淀 No.7-1 西淀 No.7-2 西幹線： 西部 西長岡 中央長岡 東長岡 南長岡 南幹線： 大山崎	pH、BOD、SS、ヘキサン抽出物質※、全窒素、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、全りん、よう素消費量、硫酸イオン、フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガン、全クロム、ニッケル、カドミウム、シアン、有機りん、鉛、六価クロム、ひ素、総水銀、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ほう素、ふっ素、1,4-ジオキサン、アルキル水銀、PCB (以上、全測定地点)
微量有機塩素化合物等試験	4回/年 (毎四半期)	放流水	クロロホルム、ブromジクロロメタン、ジブromクロロメタン、ブromホルム、総トリハロメタン、(以上、トリハロメタン) クロロホルム生成能、ブromジクロロメタン生成能、ジブromクロロメタン生成能、ブromホルム生成能、総トリハロメタン生成能 (以上、トリハロメタン生成能) アルミニウム、クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、トリクロロ酢酸、臭素酸、ホルムアルデヒド、陰イオン界面活性剤、非イオン界面活性剤、水温、pH

※ ヘキサン抽出物質については鉱物油類と動植物油脂類に分けて結果表示

(ウ) その他の試験 続き

試験名	試験回数	試料名	試験項目
脱水ケーキ、沈砂、し渣等有害物質試験	2回/年 (夏・冬期) 試料・項目により 1回/年	溶出試験: 埋立処分(海面除く) 沈砂 し渣 脱水ケーキ 焼却灰 脱硫剤(2種類) 溶出試験: 埋立処分 焼却灰 含有試験 脱水ケーキ 焼却灰	溶出試験: カドミウム、シアン、有機りん、鉛、六価クロム、ひ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,4-ジオキサン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン ふっ素、ほう素(脱水ケーキのみ) (以上、[夏・冬期]) 含有試験: ヘキサン抽出物質、けい素、アルミニウム、鉄、カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、カリウム、 チタン、りん、マンガン、塩素、クロム、鉛、ひ素、セレン(以上、焼却灰[夏期のみ]) 含水率、硫黄 (以上、脱水ケーキ、焼却灰[夏・冬期]) 含水率、熱しゃく減量、ダイオキシン類、硫黄 (以上、焼却灰[夏・冬期])
排ガス等試験	2~6回/年 ダイオキシン類は1回/年	[ダイオキシン類] (夏期のみ) 3号焼却炉排出口 (煙突入口) 流入下水 放流水 返送水 [排ガス] 加温用ボイラー No.1温水ボイラー No.2温水ボイラー 3号焼却炉排出口 (煙突入口)	[ダイオキシン類] (3号焼却炉排出口、流入下水、放流水、返送水) [排ガス] 排ガス温度、排ガス流速、水分量、組成等(二酸化炭素、一酸化炭素、酸素、窒素) 排ガス流量(湿り)、排ガス流量(乾き)、ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物 (以上、各ボイラー、3号焼却炉排出口) 塩化水素、シアン化水素、硫酸、ふっ素、ひ素、水銀、全クロム、亜鉛、 (以上、3号焼却炉排出口のみ) 但し、3号焼却炉排出口について 排ガス温度、排ガス流速、水分量、二酸化炭素、一酸化炭素、酸素、窒素、排ガス流量(湿り)、排ガス流量(乾き)、ばいじんについては6回/年測定
CODとUVの 関連試験	1回/年	放流口 UV計	COD (UV計の計測値とCOD実測結果より 直線回帰換算式と散布図を作成し、 関連・分散検定を行う)

(ウ) その他の試験 続き

試験名	試験回数	試料名	試験項目
クリプト スポリジウム 試験	4回/年	放流水	クリプトスポリジウム
作業環境中 のダイオキ シン類試験	2回/年 (夏・冬期)	3号焼却炉-灰搬出 作業場所 3号焼却炉-炉内 焼却灰搬出箇所 脱水機棟2階 中央管理室	作業環境中のダイオキシン類として ガス状ダイオキシン類 粒子状ダイオキシン類 ガス状ダイオキシン類+粒子状 ダイオキシン類 (但し、冬期は粉塵濃度のみの測定とし、夏 期に求めたD値を用いて濃度を算出する)
悪臭物質等 試験	1回/年 (夏期)	敷地境界 排気ファン出口 脱臭装置: 入口 出口 作業環境: 沈砂池等 脱水機棟 排水中の悪臭: 放流水	天候、気温、流速・流量、硫化水素等6物質、プロピオン酸、2物質 (以上、排気ファン出口、第1ポンプ棟脱臭装置入口、加圧脱臭装置入口No.1、No.2) 天候、気温、流速・流量、硫化水素等6物質 (以上、第1ポンプ棟脱臭装置出口、A.B脱臭装置入口No.1、No.2 A.B脱臭装置出口、C.D系脱臭装置入口No.1、No.2、C.D系脱臭装置出口 沈砂し渣処理棟脱臭装置出口、加圧脱臭装置出口) 天候、気温、流速・流量、硫化水素等6物質、プロピオン酸 (以上、E系脱臭装置入口、出口、沈砂し渣処理棟脱臭装置入口) 天候、気温、流速・流量、硫化水素等6物質、アセトアルデヒド、プロピオン酸、2物質 (以上、重力脱臭装置入口) 天候、気温、流速・流量、硫化水素等6物質、アセトアルデヒド (以上、重力脱臭装置出口) 天候、気温、流速・流量、硫化水素等6物質、アセトアルデヒド、プロピオン酸 (以上、脱水機構脱臭装置入口No.1、No.2) 天候、気温、流速・流量、硫化水素等6物質、14物質、アセトアルデヒド (以上、脱水機構脱臭装置出口) 天候、気温、流速・流量、硫化水素等6物質、14物質、アセトアルデヒド、プロピオン酸、2 物質 (以上、焼却炉脱臭装置入口) 天候、気温、流速・流量、硫化水素等6物質、14物質、アセトアルデヒド、2物質 (以上、焼却炉脱臭装置出口) 天候、気温、湿度、風向・風速、硫化水素等6物質、14物質、アセトアルデヒド、プロピオン 酸、2物質 (以上、旧五間堀川付近敷地境界、ゲート棟北側敷地境界、濃縮等西側敷地境界、 焼却炉西側敷地境界) 天候、気温、湿度、風向・風速、硫化水素等6物質、アセトアルデヒド、プロピオン酸、2物 質 (以上塩素混和池南側敷地境界、水処理棟東側敷地境界、急速ろ過棟東側敷地境界、 公園駐車場東側敷地境界) 天候、気温、水温、流速・流量、排水中の悪臭4物質 (以上、放流水1)

注) 硫化水素等6物質: アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル、トリメチル
14物質: プロピオンアルデヒド、ノルマルブチルアルデヒド、イソブチルアルデヒド、
ノルマルバレルアルデヒド、イソバレルアルデヒド、イソブタノール、酢酸エチル、
メチルイソブチルケトン、トルエン、スチレン、キシレン、ノルマル酪酸、
ノルマル吉草酸、イソ吉草酸
4物質: プロピオンアルデヒド、ノルマルブチルアルデヒド、イソバレルアルデヒド、ノルマル
2物質: ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸
排水中の悪臭4物質: メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル

(ウ) その他の試験 続き

試験名	試験回数	試料名	試験項目
再生利用水試験	4回/年 (毎四半期)	急ろ処理水としての 修景用水(アメニティ 送水) 水洗用水(公園送 水)	濁度、pH、外観、臭気 (以上、修景用水・水洗用水) 大腸菌群、色度 (以上、修景用水) 大腸菌、残留塩素[遊離、結合] (以上、水洗用水)

(エ) 試料採取時刻

試験種類	採取時刻及び方法
平常試験	24時間混合試料 (有機塩素系化合物についてはポイント採取)
中試験	
富栄養化試験	
有害物質等試験	
活性汚泥試験	ポイント採水(9時30分頃)
再生利用水試験	
活性汚泥(Kr)試験	適時採水
活性汚泥生物試験	
微量有機塩素化合物等試験	
CODとUVの相関分析試験	
クリプトスポリジウム試験	
汚泥・返送水試験	ポイント採取 (施設運転状況により適時採取)
汚泥・返送水中試験	
消化ガス試験	適時採取
その他のガス状検体	
脱水ケーキ、沈砂、し渣等	
焼却灰等の固形試料	

イ. 試験方法

(ア) 平常試験・中試験・富栄養化試験

試験項目	単位	試験方法	備考
水温	℃	規格7.2	
透視度	度	下水2.1.6	
pH	—	規格12.1	ガラス電極法
DO	mg/L	下水2.1.19.2	
BOD	mg/L	規格21	
炭素系BOD	mg/L	規格21備考1	
溶解性BOD	mg/L	規格21	試料をガラス繊維ろ紙にてろ過後分析
COD	mg/L	規格17	
溶解性COD	mg/L	規格17	試料をガラス繊維ろ紙にてろ過後分析
蒸発残留物	mg/L	下水2.1.9	
強熱減量	mg/L	下水2.1.11	
SS	mg/L	告示59号付表9	ガラス繊維ろ紙法
大腸菌群数	個/cm ³	省令第1号又はこれに準ずる方法	
全窒素	mg/L	規格45.1又は54.2	
アンモニア性窒素	mg/L	規格42.3又は42.5	中和滴定法又はイオンクロマトグラフ法
亜硝酸性窒素	mg/L	規格43.1	イオンクロマトグラフ法
硝酸性窒素	mg/L	規格43.2.5	イオンクロマトグラフ法
有機性窒素	mg/L	規格44	ケルダール法
全りん	mg/L	規格46.3	ペルオキシニ硫酸カリウムによる分解法
りん酸イオン態りん	mg/L	下水2.1.30.1	
塩化物イオン	mg/L	下水2.1.31.3	イオンクロマトグラフ法
硫酸イオン	mg/L	下水2.1.32.4	
요소消費量	mg/L	省令第1号	
アルカリ度	mg/L	下水2.1.15.1	総アルカリ度
残留塩素・遊離残留塩素	mg/L	下水2.1.37.1	ジエチル-ρ-フェニレンジアミン法

(イ) 活性汚泥試験

試験項目	単位	試験方法	備考
水温	℃	下水4.1.2	
pH	—	下水4.1.4	ガラス電極法
ML(RS)SS	mg/L	下水4.1.6.1	遠心分離法
ML(RS)VSS	mg/L	下水4.1.7	
ML(RS)VSS/ML(RS)SS	%	下水4.1.7	

(イ) 活性汚泥試験 (続き)

試験項目	単位	試験方法	備考
SV	%	下水4.1.8.1	活性汚泥容量率
SVI	—	下水4.1.8.2	汚泥容量指標
SDI	—	下水4.1.8.3	汚泥密度指標
MLDO	mg/L	下水4.1.9.1	隔膜電極法
K _r	mgO ₂ /h・g	下水4.1.10.1	隔膜電極法
r _r	mgO ₂ /h・L	下水4.1.10.1	隔膜電極法
K _{La}	1/h	下水4.2.1	
ORP	mV	下水4.1.5	
浮上時間	min	—	

(ウ) 汚泥試験・汚泥中試験

試験項目	単位	試験方法	備考
水温 ▲	℃	下水5.1.2	ガラス製棒状温度計
pH ▲	—	下水5.1.5	ガラス電極法
COD ※	mg/L	下水2.1.22.1	
蒸発残留物 ※	mg/L	下水5.1.6	
強熱残留物 ※	mg/L	下水5.1.7	
強熱減量 ※	mg/L	下水5.1.8	
SS ※	mg/L	下水5.1.9	ガラス繊維ろ紙法
溶解性物質 ※	mg/L	下水2.1.13	
アルカリ度 ▲	mg/L	下水5.1.13	
固形分 ●	%	下水5.1.6	
含水率 ◎	%	下水5.1.6	
有機分 ●	%	下水5.1.8	
無機分 ●	%	下水5.1.7	
BOD ※	mg/L	下水2.1.21.1	
炭素系BOD ※	mg/L	下水2.1.21.2	
有機性窒素 ※	mg/L	下水2.1.28	
全窒素	mg/L	下水5.1.18	
揮発性有機酸 △	mg/L	下水5.1.14	水蒸気蒸留法
アンモニア性窒素 ※	mg/L	下水5.1.17	
全りん	mg/L	下水5.1.19.2	下水2.1.30.3による前処理
りん酸イオン態りん ※	mg/L	下水2.1.30.1	
全窒素 ◎	%	下水5.1.18	
全りん ◎	%	下水5.1.19.2	下水2.1.30.3による前処理

※は分離液のみ ●は汚泥のみ ◎は脱水ケーキのみ ▲は脱水ケーキを除く △供給汚泥、脱水ケーキを除く

(エ) 消化ガス試験

試験項目	単位	試験方法	備考
メタン	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
水素	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
二酸化炭素	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
酸素	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
窒素	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
硫化水素	ppm	下水5.5.3.4	検知管法

(オ) 有害物質等試験

試験項目	単位	試験方法	備考
カドミウム	mg/L	規格55.3又は55.4	
シアン	mg/L	規格38.1.2, 38.3	4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン 吸光光度法
有機りん	mg/L	告示64号 付表1	
鉛	mg/L	規格54.3又は54.4	
六価クロム	mg/L	規格65.2.1	ジフェニルカルバジド吸光光度法
ひ素	mg/L	規格61.2又は61.4	
総水銀	mg/L	告示59号 付表1	還元気化原子吸光法
アルキル水銀	mg/L	告示59号 付表2, 64号 付表3	ガスクロマトグラフ法
PCB	mg/L	規格K0093又は告示59号付表3	
トリクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5	
テトラクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5	
ジクロロメタン	mg/L	規格K0125.5	
四塩化炭素	mg/L	規格K0125.5	
1,2-ジクロロエタン	mg/L	規格K0125.5	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5	
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5	
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	規格K0125.5	
シマジン	mg/L	告示59号 付表5.1	
チウラム	mg/L	告示59号 付表4	
チオベンカルブ	mg/L	告示59号 付表5.1	
ベンゼン	mg/L	規格K0125.5	

(オ) 有害物質等試験 (続き)

試験項目	単位	試験方法	備考
セレン	mg/L	規格67.2又は67.4	
ふっ素	mg/L	規格34.1又は34.3	
ほう素	mg/L	規格47.3又は47.4	
1,4-ジオキサン	mg/L	告示59号 付表7	
油分	mg/L	告示64号 付表4	
フェノール類	mg/L	規格28.1	
銅	mg/L	規格52.4又は52.5	
亜鉛	mg/L	規格53.3又は53.4	
溶解性鉄	mg/L	規格57.4 備考14	
溶解性マンガン	mg/L	規格56.4 備考8又は56.5備考9	
全クロム	mg/L	規格65.1.4 又は65.1.5	
ニッケル	mg/L	規格59.3又は59.4	
BOD	mg/L	規格21	
COD	mg/L	規格17	
SS	mg/L	告示59号 付表9	
全窒素	mg/L	規格45.1又は45.2	
全りん	mg/L	規格46.3.1	
大腸菌群数	個/cm ³	省令第1号又はこれに準ずる方法	

(カ) 管渠下水水質試験

試験項目	単位	試験方法	備考
pH	—	下水2.1.8	ガラス電極法
BOD	mg/L	下水2.1.21.1	
SS	mg/L	下水2.1.12.1	ガラス繊維ろ紙法
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)	mg/L	告示64号 付表4及び規格附属書1. II.1	
ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)		告示64号 付表4及び規格附属書1. II.2	
全窒素	mg/L	下水2.1.29	
アンモニア性窒素	mg/L	下水2.1.25	
亜硝酸性窒素	mg/L	下水2.1.26	
硝酸性窒素	mg/L	下水2.1.27	
全りん	mg/L	規格46.3	
요소消費量	mg/L	下水2.1.35	

(カ) 管渠下水水質試験(続き)

試験項目	単位	試験方法	備考
硫酸イオン	mg/L	下水2.1.32.4	
フェノール類	mg/L	規格28.1	
銅	mg/L	規格52.4又は52.5	
亜鉛	mg/L	規格53.3又は53.4	
鉄(溶解性)	mg/L	規格57.4 備考 14	
マンガン(溶解性)	mg/L	規格56.4 備考 8又は56.5備考9	
全クロム	mg/L	規格65.1.4又は65.1.5	
ニッケル	mg/L	規格59.3又は59.4	
カドミウム	mg/L	規格55.3又は55.4	
シアン	mg/L	規格38.1.2, 38.3	
有機りん	mg/L	告示64号 付表1	
鉛	mg/L	規格54.3又は54.4	
六価クロム	mg/L	規格65.2.1	
ひ素	mg/L	規格61.2又は61.4	
総水銀	mg/L	告示59号 付表1	還元気化原子吸光法
トリクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5	
テトラクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5	
ジクロロメタン	mg/L	規格K0125.5	
四塩化炭素	mg/L	規格K0125.5	
1,2-ジクロロエタン	mg/L	規格K0125.5	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5	
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5	
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	規格K0125.5	
ベンゼン	mg/L	規格K0125.5	
セレン	mg/L	規格67.2又は67.4	
ほう素	mg/L	規格47.3又は47.4	
ふっ素	mg/L	規格34.1又は34.3	
1,4-ジオキサン	mg/L	告示59号 付表7	

(キ) 再生利用水試験

試験項目	単位	試験方法	備考
大腸菌群数	個/100ml	下水6.4.2	
色度	度	下水2.1.4	
濁度	度	下水2.1.5	
pH	—	規格12.1	ガラス電極法

(キ) 再生利用水試験 (続き)

外観	—	下水2.1.3	
臭気	—	下水2.1.7	
大腸菌	—	上水試験方法V.1.5.2	
残留塩素・遊離残留塩素	mg/L	下水2.1.37.1	ジエチル- ρ -フェニレンジアミン法

(ク) 微量有機塩素化合物等試験

試験項目	単位	試験方法	備考
クロロホルム	mg/L	告示261号 別表15	HS-GC-MS法
ブロモジクロロメタン	mg/L	告示261号 別表15	HS-GC-MS法
ジブロモクロロメタン	mg/L	告示261号 別表15	HS-GC-MS法
ブロモホルム	mg/L	告示261号 別表15	HS-GC-MS法
総トリハロメタン	mg/L	告示261号 別表15	
クロロホルム生成能	mg/L	告示219号	HS-GC-MS法
ブロモジクロロメタン生成能	mg/L	告示219号	HS-GC-MS法
ジブロモクロロメタン生成能	mg/L	告示219号	HS-GC-MS法
ブロモホルム生成能	mg/L	告示219号	HS-GC-MS法
総トリハロメタン生成能	mg/L	告示219号	
アルミニウム	mg/L	告示261号 別表5	ICP-発光分光分析法
クロロ酢酸	mg/L	告示261号 別表17	溶媒抽出-GC-MS法
ジクロロ酢酸	mg/L	告示261号 別表17	溶媒抽出-GC-MS法
トリクロロ酢酸	mg/L	告示261号 別表17	溶媒抽出-GC-MS法
臭素酸	mg/L	告示261号 別表18	イオンクロマト-ポストカラム吸光光度法
ホルムアルデヒド	mg/L	告示261号 別表19	溶媒抽出-誘導体化-GC-MS法
陰イオン界面活性剤	mg/L	下水2.1.41.1	メチレンブルー吸光光度法
非イオン界面活性剤	mg/L	告示261号 別表28	
水温	℃	下水2.1.2	
pH	—	下水2.1.8	ガラス電極法

(ケ) 自動計測器による汚濁負荷量測定

試験項目	単位	試験方法	備考
COD汚濁負荷量	kg/日	昭和54年環境庁告示第20号	
T-N汚濁負荷量	kg/日	平成13年環境省告示第77号	
T-P汚濁負荷量	kg/日	平成13年環境省告示第78号	

(コ) クリプトスポリジウム試験

試験項目	単位	試験方法	備考
クリプトスポリジウム	個/L	下水処理のクリプトスポリジウム対策に関する暫定方針(案)	

(サ) 脱水ケーキ、沈砂、し渣等有害物質 [溶出試験]

試験項目	単位	試験方法	備考
カドミウム	mg/L	規格55.3	
シアン	mg/L	規格38.1.2, 38.3	4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン 吸光光度法
有機りん	mg/L	告示64号 付表1	
鉛	mg/L	規格54.3	
六価クロム	mg/L	規格65.2.1	ジフェニルカルバジド吸光光度法
ひ素	mg/L	規格61.3	
総水銀	mg/L	告示59号 付表1	還元気化原子吸光法
アルキル水銀	mg/L	告示59 付表2, 告示64 付表3	ガスクロマトグラフ法
PCB	mg/L	規格K0093又は告示59号付表3	
トリクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	
テトラクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	
ジクロロメタン	mg/L	規格K0125.5.2	
四塩化炭素	mg/L	規格K0125.5.2	
1,2-ジクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	規格K0125.5.2	
チウラム	mg/L	告示59号 付表4	
シマジン	mg/L	告示59号 付表5第1	
チオベンカルブ	mg/L	告示59号 付表5第1	
ベンゼン	mg/L	規格K0125.5.2	
セレン	mg/L	規格67.2	
ほう素	mg/L	規格47.3	
ふっ素	mg/L	規格34.1又は34.3	
1,4-ジオキサン	mg/L	告示59号 付表7第3	

(シ) 脱水ケーキ、沈砂、し渣等有害物質 [含有試験]

試験項目	単位	試験方法	備考
油分	mg/kg	下水5.1.24	
含水率	%	下水5.1.6	
熱しゃく減量	%	下水5.1.8	昭和52年11月4日環境整第95号厚生省 環境衛生局水道環境部環境整備課長通知
けい素	%	下水3.2.28	重量法
アルミニウム	%	ICP発光分光分析法	
鉄	%	ICP発光分光分析法	
カルシウム	%	ICP発光分光分析法	
ナトリウム	%	ICP発光分光分析法	
マグネシウム	%	ICP発光分光分析法	
硫黄	%	下水5.1.22	
カリウム	%	ICP発光分光分析法	
チタン	%	ICP発光分光分析法	
りん	%	下水5.1.19	
マンガン	mg/kg	ICP発光分光分析法	
塩素	%	下水5.1.21	
クロム	%	ICP発光分光分析法	

(シ) 脱水ケーキ、沈砂、し渣等有害物質 [含有試験] (続き)

試験項目	単位	試験方法	備考
鉛	mg/kg	ICP発光分光分析法	
ひ素	mg/kg	水素化物発生原子吸光法	
セレン	mg/kg	水素化物発生原子吸光法	
ダイオキシン類	ng-TEQ/g	告示第192号別表	

(ス) 排ガス等試験

試験項目	単位	試験方法	備考
CO ₂	%	規格K0301.7.1	オルザット分析方法
O ₂	%	規格K0301.7.1	オルザット分析方法
CO	%	規格K0098.7.2	検知管法
N ₂	%	規格K0301.7.1	オルザット分析方法
排ガス温度	℃	規格Z8808.6	
排ガス流速	m/s	規格Z8808.8	
水分量	%	規格Z8808.7.1	吸湿管法
(湿り)流量	Nm ³ /h	規格Z8808.8.4.1(a)	ピトー管法
(乾き)流量	Nm ³ /h	規格Z8808.8.4.2	ピトー管法
ばいじん	g/h	規格Z8808.10,11	円筒ろ紙採取法
硫酸化物	cm ³ /Nm ³	規格K0103.7.1	
窒素酸化物	cm ³ /Nm ³	規格K0104.6.3	亜鉛還元ナフチルエチレンジアミン吸光光度法
塩化水素	cm ³ /Nm ³	規格K0107.7.1	イオンクロマトグラフ法
	mg/Nm ³		
シアン	mg/Nm ³	規格K0109.7.2	4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法
硫酸	mg/Nm ³	規格K0103.7.1 準拠	イオンクロマトグラフ法
ふっ素	mg/Nm ³	規格K0105.7.1	ランタン-アリザリンコンプレクソン吸光光度法
ひ素	mg/Nm ³	規格K0083.14.2	水素化合物発生原子吸光法
総水銀	mg/Nm ³	規格K0222.5	湿式吸収-還元気化原子吸光分析法
全クロム	mg/Nm ³	規格K0083.12.4	ICP発光分光分析法
亜鉛	mg/Nm ³	規格K0083準拠	ICP発光分光分析法
ダイオキシン類(水質)	pg-TEQ/L	規格K0312	
ダイオキシン類(排ガス)	ng-TEQ/m ³	規格K0311	

(セ) 悪臭物質等試験

試験項目	単位	試験方法	備考
アンモニア	volppm	告示9号 別表1	
メチルメルカプタン	volppm	告示9号 別表2	
硫化水素	volppm	告示9号 別表2	
硫化メチル	volppm	告示9号 別表2	
二硫化メチル	volppm	告示9号 別表2	
トリメチルアミン	volppm	告示9号 別表3	
アセトアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
プロピオンアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
ノルマルブチルアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
イソブチルアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
ノルマルバレールアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
イソバレールアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
イソブタノール	volppm	告示9号 別表5	
酢酸エチル	volppm	告示9号 別表6	
メチルイソブチルケトン	volppm	告示9号 別表6	
スチレン	volppm	告示9号 別表7	
キシレン	volppm	告示9号 別表7	
トルエン	volppm	告示9号 別表7	
プロピオン酸	volppm	告示9号 別表8	
ノルマル酪酸	volppm	告示9号 別表8	
ノルマル吉草酸	volppm	告示9号 別表8	
イソ吉草酸	volppm	告示9号 別表8	
硫化水素(排水)	mg/L	告示9号 別表2	
メチルメルカプタン(排水)	mg/L	告示9号 別表2	
硫化メチル(排水)	mg/L	告示9号 別表2	
二硫化メチル(排水)	mg/L	告示9号 別表2	

(ソ) 作業環境中のダイオキシン類試験

試験項目	単位	試験方法	備考
ダイオキシン類(夏期)	pg-TEQ/m ³	基発第401号の2	
ダイオキシン類(冬期)	pg-TEQ/m ³	総粉塵D値換算	粉塵濃度を測定しD値を求める

注)

- 下 水 : 下水試験方法(2012)
- 規 格 : 日本工業規格JIS K 0102 工場排水試験方法
- 規 格 K 0083 : 日本工業規格JIS K 0083 排ガス中の金属分析方法
- 規 格 K 0093 : 日本工業規格JIS K 0093 用水排水中のポリクロロビフェニル(PCB)の試験方法
- 規 格 K 0098 : 日本工業規格JIS K 0098 排ガス中の一酸化炭素分析方法
- 規 格 K 0103 : 日本工業規格JIS K 0103 排ガス中の硫黄酸化物分析方法
- 規 格 K 0104 : 日本工業規格JIS K 0104 排ガス中の窒素酸化物分析方法
- 規 格 K 0105 : 日本工業規格JIS K 0105 排ガス中のふっ素化合物分析方法
- 規 格 K 0107 : 日本工業規格JIS K 0107 排ガス中の塩化水素分析方法
- 規 格 K 0109 : 日本工業規格JIS K 0109 排ガス中のシアン化水素分析方法
- 規 格 K 0222 : 日本工業規格JIS K 0222 排ガス中の水銀分析方法
- 規 格 K 0301 : 日本工業規格JIS K 0301 排ガス中の酸素分析方法
- 規 格 K 0125 : 日本工業規格JIS K 0125 用水・排水中の揮発性有機化合物試験方法
- 規 格 K 0312 : 日本工業規格JIS K 0312 工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法
- 規 格 Z 8808 : 日本工業規格JIS Z 8813 排ガス中のダスト濃度の測定方法
- 省 令 第 1 号 : 昭和37年12月17日厚生省・建設省令第1号「下水の水質の検定方法に関する省令」
- 告 示 9 号 : 昭和47年5月30日 環境庁告示第9号 [特定悪臭物質の測定の方法]
- 告 示 59 号 : 昭和46年12月28日 環境庁告示59号 [水質汚濁に係る環境基準について]
- 告 示 64 号 : 昭和49年9月30日 環境庁告示64号 [排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法]
- 告 示 192 号 : 平成4年7月3日 厚生省告示第192号別表1
溶出液の作成は昭和48年2月17日 環境庁告示13号 [産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法] による
- 告 示 261 号 : 平成15年7月22日 厚生労働省告示第261号 [水質基準に関する省令]
- 告 示 219 号 : 平成6年7月4日 厚生労働省告示219号 [水質基準に関する省令の表の上欄に掲げる事項以外の事項に係わる水質の検査の方法]
- 基 発 401 号 : 平成13年4月 厚生労働省基発401号の2 [廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱]
- 総 理 府 令 67 号 : 平成11年12月27日 総理府令第67号 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第2条-1 [排ガス中のダイオキシン類の測定方法]
- 上 水 試 験 方 法 : 上水試験方法 2001年版 特定酵素基質培地法 XGal-MUG法

(3) 数値の取り扱い方法

(ア) 有効数字について

- ① 気温、水温(温度)、pHは、読み取り数値を小数点以下1桁とし、読み取った数値は全て有効数字である。
- ② 分析操作によって得られた有効数字は、項目ごとの(別表)に示す桁数とし、その下の桁をJIS Z-8401により丸める。
 - ・生活環境保全に関する項目のうち(別表1)に示す項目は、原則として3桁とする。
 - ・活性汚泥項目(別表2)は原則として3桁とする。
 - ・その他重金属は、2桁とする。
- ③ 報告最小位は、項目ごと別表(1~3)に示し、報告最小位の下を、JIS Z-8401により丸める。
- ④ 定量下限値を下回る数値は、切捨てとし、「<定量下限値」で表示する。

(イ) 平均値について

- ① 報告値を用いて平均値を算出し、有効数字のその下の桁を四捨五入とする。
- ② 平均値については、定量下限値未満の数値は「0」として算出し、平均値が定量下限値未満となる場合は「<定量下限値」と表示する。
(透視度(>100)については、「100」として算出する。
- ③ 最大値、最小値、平均値の表記は「最大、最小、平均」とする。

(別表1)

試 験 項 目	(単位)	記 載 方 法		
		有 効 数 字	最 小 位	最 小 数 字
pH		全桁	小数点以下1桁	-
BOD	(mg/L)	3桁	〃	0.1
SS	(mg/L)	3〃	整 数 1 位	<1
大腸菌群数	(個/cm ³)	2〃	〃	0

(別表2)

試 験 項 目	(単位)	記 載 方 法		
		有 効 数 字	最 小 位	最 小 数 字
水温	(℃)	全桁	小数点以下1桁	-
ML(RS)SS	(mg/L)	3桁	整 数 1 位	0
ML(RS)VSS	(mg/L)	3〃	〃	0
ML(RS)VSS/ML(RS)SS	(%)	3〃	小数点以下1桁	0.0
SV	(%)	2〃	整 数 1 位	0
SVI		3〃	〃	0
MLDO	(mg/L)	2〃	小数点以下1桁	0.0

(別表3)

区分	試 験 項 目	定量限界 (mg/L)	記 載 方 法		
			有効数字	最 小 位	最小数字
有 害 物 質	カドミウム	0.003	2桁	小数点以下3桁	<0.003
	シアン	0.05	2桁	〃 2桁	<0.05
	有機りん	0.01	2桁	〃 2桁	<0.01
	鉛	0.006	2桁	〃 3桁	<0.006
	六価クロム	0.04	2桁	〃 2桁	<0.04
	ひ素	0.001	2桁	〃 3桁	<0.001
	総水銀	0.0005	2桁	〃 4桁	<0.0005
	アルキル水銀	0.0005	2桁	〃 4桁	<0.0005
	PCB	0.0005	2桁	〃 4桁	<0.0005
	トリクロロエチレン	0.008	2桁	〃 3桁	<0.008
	テトラクロロエチレン	0.002	2桁	〃 3桁	<0.002
	ジクロロメタン	0.002	2桁	〃 3桁	<0.002
	四塩化炭素	0.0002	2桁	〃 4桁	<0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0004	2桁	〃 4桁	<0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.002	2桁	〃 3桁	<0.002
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.004	2桁	〃 3桁	<0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	0.03	2桁	〃 2桁	<0.03
	1,1,2-トリクロロエタン	0.0006	2桁	〃 4桁	<0.0006
	1,3-ジクロロプロペン	0.0002	2桁	〃 4桁	<0.0002
	チウラム	0.0006	2桁	〃 4桁	<0.0006
	シマジン	0.0003	2桁	〃 4桁	<0.0003
	チオベンカルブ	0.002	2桁	〃 3桁	<0.002
	ベンゼン	0.001	2桁	〃 3桁	<0.001
	セレン	0.001	2桁	〃 3桁	<0.001
	ほう素	0.01	2桁	〃 2桁	<0.01
	ふっ素	0.1	2桁	〃 1桁	<0.1
	1,4-ジオキサン	0.05	2桁	〃 2桁	<0.05
	油分	0.5	2桁	〃 1桁	<0.5
	フェノール類	0.02	2桁	〃 2桁	<0.02
	銅	0.02	2桁	〃 2桁	<0.02
	亜鉛	0.02	2桁	〃 2桁	<0.02
	溶解性鉄	0.08	2桁	〃 2桁	<0.08
	全クロム	0.03	2桁	〃 2桁	<0.03
ニッケル	0.05	2桁	〃 2桁	<0.05	
ダイオキシン類(注)	0.00001	2桁	〃 5桁	<0.00001	
有 害 物 質 以 外 の も の	油分(鉱油類含有量)	0.5	2桁	〃 1桁	<0.5
	油分(動植物油脂類含有量)	0.5	2桁	〃 1桁	<0.5
	フェノール類	0.02	2桁	〃 2桁	<0.02
	銅	0.02	2桁	〃 2桁	<0.02
	亜鉛	0.02	2桁	〃 2桁	<0.02
	溶解性鉄	0.08	2桁	〃 2桁	<0.08
	溶解性マンガン	0.01	2桁	〃 2桁	<0.01
	全クロム	0.03	2桁	〃 2桁	<0.03
	全窒素	0.1	3桁	〃 1桁	<0.1
	全りん	0.01	3桁	〃 2桁	<0.01
	ニッケル	0.05	2桁	〃 2桁	<0.05
	硫酸イオン	0.1	3桁	〃 1桁	<0.1
	よう素消費量	0.1	3桁	〃 1桁	<0.1
	陰イオン界面活性剤	0.1	2桁	〃 1桁	<0.1
	非イオン界面活性剤	0.02	2桁	〃 2桁	<0.01

(注). ダイオキシン類(排水中)のみ単位はpg-TEQ/L

(4) 試験結果

ア 流入下水

平成29年度

区分	試験項目	平成29年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		平成30年1月		2月		3月		回数	年最大 (注)	年平均 (注)	
		平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大				
技術上の基準項目	pH	7.4	7.5	7.3	7.6	7.4	7.6	7.3	7.4	7.2	7.3	7.3	7.4	7.4	7.5	7.4	7.7	7.4	7.7	7.4	7.5	7.3	7.4	7.3	7.5	113	7.7	7.3	
	月最小	—	(7.3)	—	(7.2)	—	(7.2)	—	(7.1)	—	(6.9)	—	(7.2)	—	(7.3)	—	(7.3)	—	(7.2)	—	(7.3)	—	(7.2)	—	(7.2)	—	(6.9)		
	BOD (mg/L)	141	158	157	174	136	160	128	154	125	156	131	145	139	204	124	149	147	156	134	154	141	152	131	148	83	204	136	
	SS (mg/L)	115	138	116	142	111	138	103	150	103	138	100	118	103	116	99	126	111	138	110	130	124	136	103	126	113	150	108	
	大腸菌群数 (個/cm ³)	140,000	270,000	170,000	270,000	140,000	230,000	200,000	260,000	140,000	190,000	260,000	540,000	180,000	190,000	230,000	570,000	160,000	230,000	150,000	210,000	150,000	380,000	99,000	120,000	69	570,000	170,000	
	全窒素 (mg/L)	22.7	26.4	26.2	28.1	23.1	23.6	20.9	22.1	21.0	23.9	19.5	20.8	21.6	21.6	21.5	26.4	24.7	24.9	24.6	26.9	26.6	27.4	24.3	26.0	41	28.1	23.2	
全りん (mg/L)	2.41	2.90	2.87	3.41	2.48	2.58	2.22	2.36	2.15	2.34	2.09	2.16	2.17	2.21	2.11	3.01	2.16	2.60	2.66	2.80	3.05	3.41	2.69	3.13	41	3.41	2.46		
有害物質	カドミウム (mg/L)			< 0.003	< 0.003					< 0.003	< 0.003											< 0.003	< 0.003			8	< 0.003	< 0.003	
	シアン (mg/L)			< 0.05	< 0.05					< 0.05	< 0.05												< 0.05	< 0.05			8	< 0.05	< 0.05
	有機りん (mg/L)			< 0.01	< 0.01					< 0.01	< 0.01												< 0.01	< 0.01			8	< 0.01	< 0.01
	鉛 (mg/L)	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	24	< 0.006	< 0.006
	六価クロム (mg/L)			< 0.04	< 0.04					< 0.04	< 0.04												< 0.04	< 0.04			8	< 0.04	< 0.04
	ひ素 (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	24	< 0.005	< 0.005
	総水銀 (mg/L)			< 0.0005	< 0.0005					< 0.0005	< 0.0005												< 0.0005	< 0.0005			8	< 0.0005	< 0.0005
	アルキル水銀 (mg/L)			< 0.0005	< 0.0005					< 0.0005	< 0.0005												< 0.0005	< 0.0005			8	< 0.0005	< 0.0005
	P C B (mg/L)			< 0.0005	< 0.0005					< 0.0005	< 0.0005												< 0.0005	< 0.0005			8	< 0.0005	< 0.0005
	トリクロロエチレン (mg/L)			< 0.008	< 0.008					< 0.008	< 0.008												< 0.008	< 0.008			8	< 0.008	< 0.008
	テトラクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	24	< 0.002	< 0.002
	ジクロロメタン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	24	< 0.002	< 0.002
	四塩化炭素 (mg/L)			< 0.0002	< 0.0002					< 0.0002	< 0.0002												< 0.0002	< 0.0002			8	< 0.0002	< 0.0002
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)			< 0.0004	< 0.0004					< 0.0004	< 0.0004												< 0.0004	< 0.0004			8	< 0.0004	< 0.0004
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)			< 0.002	< 0.002					< 0.002	< 0.002												< 0.002	< 0.002			8	< 0.002	< 0.002
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)			< 0.004	< 0.004					< 0.004	< 0.004												< 0.004	< 0.004			8	< 0.004	< 0.004
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)			< 0.03	< 0.03					< 0.03	< 0.03												< 0.03	< 0.03			8	< 0.03	< 0.03
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)			< 0.0006	< 0.0006					< 0.0006	< 0.0006												< 0.0006	< 0.0006			8	< 0.0006	< 0.0006
	1,3-ジクロロプロパン (mg/L)			< 0.0002	< 0.0002					< 0.0002	< 0.0002												< 0.0002	< 0.0002			8	< 0.0002	< 0.0002
	チウラム (mg/L)			< 0.0006	< 0.0006					< 0.0006	< 0.0006												< 0.0006	< 0.0006			8	< 0.0006	< 0.0006
	シマジン (mg/L)			< 0.0003	< 0.0003					< 0.0003	< 0.0003												< 0.0003	< 0.0003			8	< 0.0003	< 0.0003
	チオベンカルブ (mg/L)			< 0.002	< 0.002					< 0.002	< 0.002												< 0.002	< 0.002			8	< 0.002	< 0.002
	ベンゼン (mg/L)			< 0.001	< 0.001					< 0.001	< 0.001												< 0.001	< 0.001			8	< 0.001	< 0.001
セレン (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	24	< 0.001	< 0.001	
ほう素 (mg/L)	0.10	0.10	0.12	0.13	0.09	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09	0.12	0.13	0.08	0.08	0.09	0.09	0.12	0.12	0.10	0.10	0.11	0.12	0.08	0.09	24	0.13	0.10		
ふっ素 (mg/L)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	< 0.1	< 0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	< 0.1	< 0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	24	0.1	0.1		
アンモニア性窒素等含有量 (mg/L)	13.0	15.0	14.6	16.0	14.0	16.7	11.4	12.6	12.1	14.9	11.1	11.3	12.5	12.6	12.2	14.7	16.2	16.4	15.7	16.0	16.7	17.0	15.1	16.1	41	17.0	13.7		
1,4-ジオキサソリン (mg/L)			< 0.005	< 0.005					< 0.005	< 0.005												< 0.005	< 0.005			8	< 0.005	< 0.005	
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)					0.350	0.350																				1	0.35	0.35	
有害物質以外のもの	油分(鉱油類含有量) (mg/L)			< 0.5	< 0.5					< 0.5	< 0.5											< 0.5	< 0.5			8	< 0.5	< 0.5	
	油分(動植物油脂類含有量) (mg/L)			11	21					8.0	16											11	22			8	22	9.0	
	フェノール類 (mg/L)			< 0.02	< 0.02					0.02	0.03												0.03	0.05			8	0.05	< 0.02
	銅 (mg/L)			0.02	0.03					< 0.02	0.02												0.02	0.03			8	0.03	< 0.02
	亜鉛 (mg/L)			0.04	0.08					0.04	0.07												0.04	0.08			8	0.08	0.04
	溶解性鉄 (mg/L)			< 0.08	0.14					0.12	0.23												0.12	0.23			8	0.23	0.10
	溶解性マンガン (mg/L)			0.02	0.03					0.04	0.07												0.03	0.05			8	0.07	0.03
	全クロム (mg/L)			< 0.03	< 0.03					< 0.03	< 0.03												< 0.03	< 0.03			8	< 0.03	< 0.03
	ニッケル (mg/L)			< 0.05	< 0.05					< 0.05	< 0.05												< 0.05	< 0.05			8	< 0.05	< 0.05
	硫酸イオン (mg/L)	24.1	24.1	23.1	23.9	21.8	23.7	17.8	17.9	13.0	15.4	25.0	25.0	24.8	24.8	23.0	24.9	28.7	28.7	27.7	28.7	27.4	28.9	23.8	24.7	21	28.9	22.9	
よう素消費量 (mg/L)	6.3	6.7	9.2	11.3	8.6	13.7	7.1	7.5	4.4	6.2	6.6	6.6	6.1	6.1	5.8	6.8	9.7	9.7	7.1	7.1	7.8	9.1	7.9	7.9	21	13.7	7.1		

(注)年最大、年平均はそれぞれ全データの最大、全データの平均を表す。

ウ 汚濁負荷量測定結果 (合計)

(1) COD

目 月	COD値(mg/L)			汚濁負荷量(kg/日)		
	最大	最小	平均	最大	最小	平均
平成29年4月	11.2	7.6	9.9	1558.6	1036.2	1190.3
5月	11.0	8.2	10.2	1480.4	974.2	1162.1
6月	10.1	7.8	9.4	2135.5	999.4	1184.8
7月	9.8	7.9	9.0	1444.8	1007.1	1154.0
8月	9.6	6.6	8.6	1805.5	980.9	1137.3
9月	10.1	6.8	9.0	1582.5	978.7	1125.1
10月	10.0	5.0	7.7	3318.6	962.2	1237.2
11月	10.4	7.6	9.1	1219.1	987.4	1098.8
12月	10.7	8.8	9.7	1225.2	1005.5	1079.5
平成30年1月	9.4	7.5	8.8	1216.6	795.8	974.1
2月	10.5	9.0	9.8	1267.6	973.4	1057.7
3月	10.2	8.1	9.4	1439.6	974.1	1122.4
年 間	11.2	5.0	9.2	3318.6	795.8	1127.2

(2) 全窒素

目 月	全窒素(mg/L)			汚濁負荷量(kg/日)		
	最大	最小	平均	最大	最小	平均
平成29年4月	10.83	6.89	9.47	1402.6	948.0	1131.5
5月	11.65	8.76	9.81	1357.7	998.7	1111.0
6月	10.87	5.15	8.33	1753.0	762.2	1044.3
7月	8.49	4.42	6.85	1090.1	616.4	878.2
8月	8.54	5.63	7.16	1674.1	684.0	940.7
9月	10.13	5.62	7.41	1699.0	671.1	918.4
10月	9.68	5.39	7.38	3332.0	788.6	1180.5
11月	11.20	6.16	9.10	1302.6	869.7	1089.2
12月	13.42	8.21	9.71	1479.8	901.7	1071.2
平成30年1月	11.64	8.16	9.55	1238.7	776.9	1052.9
2月	11.68	8.86	9.83	1205.3	956.1	1060.3
3月	10.91	8.09	9.34	1446.6	950.3	1107.2
年 間	13.42	4.42	8.66	3332.0	616.4	1048.7

(3) 全りん

目 月	全りん(mg/L)			汚濁負荷量(kg/日)		
	最大	最小	平均	最大	最小	平均
平成29年4月	1.671	0.706	1.084	253.92	79.49	129.52
5月	1.793	0.664	1.070	204.05	78.37	121.19
6月	1.529	0.567	0.930	206.16	63.58	116.57
7月	1.800	0.572	1.141	215.01	78.42	146.22
8月	1.719	0.712	1.161	278.22	86.42	152.59
9月	1.792	0.562	1.114	300.70	66.91	137.95
10月	1.902	0.627	1.108	318.45	71.01	177.13
11月	1.846	0.310	0.762	213.74	36.28	91.20
12月	1.876	0.442	1.179	203.21	47.31	130.09
平成30年1月	1.838	0.752	1.402	196.96	71.66	154.57
2月	1.794	0.844	1.364	194.63	91.44	147.09
3月	1.764	0.455	1.227	256.52	50.08	145.36
年 間	1.902	0.310	1.129	318.45	36.28	137.58

(注1) COD値, 全窒素, 全りんの各濃度及び各汚濁負荷量は、放流水1, 放流水2の合計である。

(注2) 汚濁負荷量は、測定値の日合計量を表し、その値を排水量で除した値が濃度である。

(注3) 年間データはそれぞれ月最大の最大、月最小の最小、月平均の平均を表す。

エ 焼却灰溶出試験結果

単位：mg/L

区分	試料採取年月日 溶出試験項目	平成29年7月12日		平成29年11月14日		金属等を含む 産業廃棄物に 係る判定基準
		埋立処分(海面埋 立処分を除く)	海面埋立処分	埋立処分(海面埋 立処分を除く)	海面埋立処分	
有害	カドミウム	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.09 以下
	シアン	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	1 以下
	有機りん	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	1 以下
	鉛	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	0.3 以下
	六価クロム	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	1.5 以下
	ひ素	0.130	0.130	0.025	0.025	0.3 以下
	総水銀	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.005 以下
	アルキル水銀	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	検出されないこと
	P C B	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.003 以下
	トリクロロエチレン	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	0.1 以下
	テトラクロロエチレン	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.1 以下
	ジクロロメタン	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.2 以下
	四塩化炭素	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.02 以下
	物質	1, 2-ジクロロエタン	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004
1, 1-ジクロロエチレン		< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	1 以下
シス-1, 2-ジクロロエチレン		< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.4 以下
1, 1, 1-トリクロロエタン		< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	3 以下
1, 1, 2-トリクロロエタン		< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	0.06 以下
1, 3-ジクロロプロペン		< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.02 以下
ベンゼン		< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.1 以下
チウラム		< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	0.06 以下
シマジン		< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	0.03 以下
チオベンカルブ		< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.2 以下
セレン		0.069	0.069	0.077	0.077	0.3 以下
1, 4-ジオキサン	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.5 以下	

オ 活性汚泥・返送汚泥試験成績

A系

区分	試験項目	年月	平成29年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成30年	2月	3月	回数	年最大 (注)	年最小 (注)	年平均 (注)			
			4月							1月											
A	生物反応槽混合液	水温	(°C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—			
		pH		—	—	—	6.7	6.6	6.7	6.8	6.8	6.8	6.7	6.7	6.7	71	6.8	6.6	6.7		
		MLSS	(mg/L)	—	—	—	1,180	1,370	1,220	1,170	1,270	1,290	1,520	1,380	1,290	71	1,520	1,170	1,300		
		MLVSS	(mg/L)	—	—	—	972	1,140	1,040	981	1,100	1,100	1,280	1,180	1,130	71	1,280	972	1,100		
		MLVSS/MLSS	(%)	—	—	—	82.4	83.4	85.0	83.8	86.8	84.8	83.8	85.7	87.3	71	87.3	82.4	84.8		
		SV	(%)	—	—	—	27	27	20	18	19	18	23	20	17	71	27	17	21		
		SVI		—	—	—	220	197	159	156	153	139	148	147	133	71	220	133	161		
		MLDO	入口	(mg/L)	—	—	—	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	71	0.2	0.0	0.1	
			出口		—	—	—	1.5	2.2	2.0	1.5	1.3	1.6	1.8	1.3	1.3	71	2.2	1.3	1.6	
		ORP	入口	(mV)	—	—	—	69	178	211	257	209	212	216	168	171	71	257	69	188	
			出口		—	—	—	242	325	373	395	339	349	343	297	288	71	395	242	328	
		系	返送汚泥	水温	(°C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	
				pH		—	—	—	6.8	6.6	6.7	6.8	6.8	6.8	6.7	6.8	6.7	71	6.8	6.6	6.7
				RSSS	(mg/L)	—	—	—	3,230	3,990	3,430	3,280	3,750	3,920	4,610	4,200	3,880	71	4,610	3,230	3,810
RSVSS	(mg/L)			—	—	—	2,690	3,360	2,950	2,800	3,250	3,380	3,960	3,650	3,400	71	3,960	2,690	3,270		
RSVSS/RSSS	(%)			—	—	—	83.1	84.2	86.1	85.3	86.8	86.0	85.9	86.9	87.5	71	87.5	83.1	85.8		
SV	(%)			—	—	—	80	88	75	67	73	79	92	84	76	71	92	67	79		
SVI				—	—	—	253	221	220	205	196	202	201	200	197	71	253	196	211		

(注)年最大、年最小、年平均はそれぞれ月最大の最大、月最小の最小、月平均の平均を表す。

才 活性汚泥・返送汚泥試験成績

B, C系

区分	試験項目	年月	平成28年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成29年	2月	3月	回数	年最大 (注)	年最小 (注)	年平均 (注)	
			4月							1月									
B系	生物反応槽混合液	水温	(°C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	
		pH		6.6	6.6	6.8	6.7	6.6	6.7	6.8	6.8	6.7	6.7	6.6	6.6	101	6.8	6.6	6.7
		MLSS	(mg/L)	1,420	1,430	1,330	1,340	1,220	1,160	1,100	1,400	1,390	1,590	1,430	1,460	101	1,590	1,100	1,360
		MLVSS	(mg/L)	1,120	1,090	1,070	1,090	1,000	939	910	1,150	1,140	1,320	1,200	1,240	101	1,320	910	1,110
		MLVSS/MLSS	(%)	79.0	76.2	80.9	81.5	82.0	81.4	82.4	81.9	81.9	83.0	83.8	84.6	101	84.6	76.2	81.6
		SV	(%)	22	21	35	50	52	48	46	53	35	33	22	23	101	53	21	37
		SVI		154	145	263	375	424	411	411	374	252	202	155	157	101	424	145	277
		MLDO (mg/L)	入口		0.0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	101	0.2	0.0
	出口			1.8	0.8	1.8	2.0	2.2	1.3	1.3	1.6	1.2	2.4	1.8	2.3	101	2.4	0.8	1.7
	ORP (mV)	入口		121	91	72	86	157	192	224	179	215	222	206	184	101	224	72	162
		出口		236	205	178	222	294	341	360	297	308	330	290	282	101	360	178	279
	返送汚泥	水温	(°C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—
		pH		6.6	6.6	6.7	6.6	6.6	6.7	6.8	6.7	6.8	6.7	6.7	6.7	101	6.8	6.6	6.7
		RSSS	(mg/L)	7,610	6,420	5,300	4,880	4,310	4,320	4,030	4,720	4,230	4,840	4,430	4,790	101	7,610	4,030	4,990
RSVSS		(mg/L)	6,070	5,000	4,300	3,970	3,540	3,530	3,330	3,890	3,490	4,050	3,730	4,070	101	6,070	3,330	4,080	
RSVSS/RSSS		(%)	79.6	77.8	81.2	81.5	82.0	81.7	82.6	82.3	82.5	83.7	84.4	84.9	101	84.9	77.8	82.0	
SV		(%)	100	99	100	100	100	100	100	100	97	97	90	97	101	100	90	98	
SVI			134	158	191	211	235	238	249	214	232	202	206	202	101	249	134	206	
C系	生物反応槽混合液	水温	(°C)	20.6	23.0	24.3	26.2	26.8	26.0	24.7	22.6	20.5	19.2	18.4	19.5	101	26.8	18.4	22.7
		pH		6.6	6.5	6.8	6.7	6.6	6.7	6.7	6.7	6.6	6.6	6.6	6.6	101	6.8	6.5	6.6
		MLSS	(mg/L)	1,550	1,480	1,290	1,420	1,310	1,260	1,270	1,370	1,320	1,480	1,460	1,480	101	1,550	1,260	1,390
		MLVSS	(mg/L)	1,250	1,170	1,030	1,130	1,050	1,020	1,030	1,110	1,070	1,220	1,210	1,240	101	1,250	1,020	1,130
		MLVSS/MLSS	(%)	80.3	79.0	80.2	79.7	80.5	81.2	81.0	81.0	81.1	82.6	82.8	84.0	101	84.0	79.0	81.1
		SV	(%)	22	21	20	31	28	30	33	26	21	29	18	18	101	33	18	25
		SVI		142	142	159	220	217	237	261	190	159	188	124	122	101	261	122	180
		MLDO (mg/L)	入口		0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	101	0.1	0.0
	出口			1.8	1.6	1.9	1.5	2.0	2.0	2.2	1.9	2.1	2.3	2.1	2.5	101	2.5	1.5	2.0
	ORP (mV)	入口		101	81	62	83	167	188	217	181	199	213	192	179	101	217	62	155
		出口		187	181	155	177	248	296	326	250	285	303	268	248	101	326	155	244
	返送汚泥	水温	(°C)	21.6	23.5	25.5	27.5	27.2	26.1	25.1	23.0	20.8	19.3	18.9	19.8	101	27.5	18.9	23.2
		pH		6.6	6.6	6.7	6.6	6.5	6.5	6.7	6.7	6.7	6.6	6.6	6.6	101	6.7	6.5	6.6
		RSSS	(mg/L)	8,930	8,690	7,970	7,990	7,860	7,610	5,440	4,900	5,250	6,140	5,360	5,080	101	8,930	4,900	6,770
RSVSS		(mg/L)	7,100	6,970	6,370	6,310	6,290	6,110	4,380	3,960	4,270	5,090	4,460	4,260	101	7,100	3,960	5,460	
RSVSS/RSSS		(%)	79.3	80.1	80.0	79.0	80.0	80.3	80.5	80.7	81.1	82.8	83.2	83.9	101	83.9	79.0	80.9	
SV		(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	99	100	98	97	101	100	97	100	
SVI			114	117	126	127	128	133	197	212	196	165	186	194	101	212	114	158	

D, E系

区分	試験項目	年月	平成28年									平成29年			回数	年最大 (注)	年最小 (注)	年平均 (注)		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
D	生物反応槽混合液	水温	(°C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-		
		pH		-	6.5	6.8	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.6	6.6	6.6	80	6.8	6.5	6.7	
		MLSS	(mg/L)	-	1,350	1,470	1,390	1,310	1,160	1,130	1,320	1,330	1,440	1,340	1,360	80	1,470	1,130	1,330	
		MLVSS	(mg/L)	-	1,070	1,180	1,110	1,050	918	906	1,070	1,070	1,190	1,120	1,150	80	1,190	906	1,080	
		MLVSS/MLSS	(%)	-	79.0	80.4	79.7	79.9	79.4	80.5	80.8	80.3	83.0	83.5	84.6	80	84.6	79.0	81.0	
		SV	(%)	-	18	27	32	28	22	23	23	24	26	16	15	80	32	15	23	
		SVI		-	136	184	228	213	193	200	173	180	177	116	109	80	228	109	174	
		MLDO	入口	(mg/L)	-	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	80	0.2	0.0	0.1
		出口	(mg/L)	-	3.1	2.8	2.1	2.9	2.2	2.5	2.2	2.5	2.6	2.7	2.6	80	3.1	2.1	2.6	
	ORP	入口	(mV)	-	82	60	76	161	199	208	179	193	204	195	177	80	208	60	158	
		出口	(mV)	-	177	147	169	247	342	321	252	280	298	255	235	80	342	147	248	
	系	返送汚泥	水温	(°C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	
			pH		-	6.6	6.8	6.7	6.6	6.7	6.8	6.7	6.7	6.6	6.6	6.6	80	6.8	6.6	6.7
			RSSS	(mg/L)	-	5,810	5,240	5,090	4,800	3,900	3,840	4,260	5,380	5,840	4,660	4,440	80	5,840	3,840	4,840
RSVSS			(mg/L)	-	4,600	4,210	4,040	3,850	3,100	3,080	3,430	4,350	4,890	3,920	3,780	80	4,890	3,080	3,930	
RSVSS/RSSS			(%)	-	79.2	80.5	79.2	80.1	79.6	80.4	80.7	80.9	83.8	84.1	85.2	80	85.2	79.2	81.2	
SV			(%)	-	97	98	100	100	99	88	99	100	100	89	89	80	100	88	96	
SVI				-	187	191	199	209	254	230	237	190	172	192	201	80	254	172	206	
E	生物反応槽混合液	水温	(°C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-		
		pH		6.6	6.6	6.8	6.7	6.6	6.7	6.8	6.7	6.7	6.6	6.6	6.5	101	6.8	6.5	6.7	
		MLSS	(mg/L)	1,530	1,440	1,470	1,410	1,310	1,290	1,190	1,320	1,470	1,640	1,480	1,510	101	1,640	1,190	1,420	
		MLVSS	(mg/L)	1,240	1,160	1,180	1,130	1,070	1,040	964	1,070	1,180	1,340	1,220	1,250	101	1,340	964	1,150	
		MLVSS/MLSS	(%)	81.1	80.3	80.5	80.4	81.7	81.0	81.4	81.3	80.6	82.0	82.3	82.7	101	82.7	80.3	81.3	
		SV	(%)	24	24	27	32	32	30	24	25	27	43	24	21	101	43	21	28	
		SVI		157	164	180	228	246	235	198	189	180	261	163	141	101	261	141	195	
		MLDO	入口	(mg/L)	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	101	0.3	0.1	0.2
		出口	(mg/L)	1.9	2.0	2.1	1.8	2.1	2.1	2.1	1.9	2.2	2.6	2.1	1.9	101	2.6	1.8	2.1	
	ORP	入口	(mV)	34	6	-2	8	95	133	181	147	141	148	126	106	101	181	-2	94	
		出口	(mV)	181	180	150	170	247	286	324	262	286	287	253	231	101	324	150	238	
	系	返送汚泥	水温	(°C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	
			pH		6.6	6.5	6.7	6.6	6.5	6.6	6.7	6.6	6.6	6.5	6.6	6.5	101	6.7	6.5	6.6
			RSSS	(mg/L)	5,490	6,600	6,820	6,130	5,490	5,290	5,220	5,390	7,240	7,880	7,320	7,100	101	7,880	5,220	6,330
RSVSS			(mg/L)	4,410	5,340	5,510	4,970	4,470	4,290	4,260	4,400	5,890	6,540	6,120	5,860	101	6,540	4,260	5,170	
RSVSS/RSSS			(%)	80.5	80.9	80.7	80.8	81.4	81.2	81.6	81.7	81.4	83.0	83.4	82.5	101	83.4	80.5	81.6	
SV			(%)	98	94	99	98	99	100	100	96	99	100	100	100	101	100	94	99	
SVI				181	153	147	168	185	190	199	187	144	129	143	143	101	199	129	164	

(注) 年最大、年最小、年平均はそれぞれ月最大の最大、月最小の最小、月平均の平均を表す。

(5) 水質管理状況

施設	項目	年 月	平成29年4月					
			A系	B系	C系	D系	E系	
沈砂池 揚水ポンプ	流入下水量 (m ³ /日)		151,374					
	場内返送水量 (m ³ /日)		13,433					
	滞留時間(注1) (時間)		0.6					
	揚水量 (m ³ /日)		157,940					
最沈殿池	簡易処理量 (m ³ /日)			47,866	51,845		69,481	
	生汚泥量 (m ³ /日)			372	275		418	
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)			84.2	88.1		86.8	
	沈殿時間 (時間)			0.7	0.7		0.7	
生物反応 タンク	高級処理量 (m ³ /日)			47,494	51,570		69,062	
	返送汚泥量 (m ³ /日)			12,725	9,996		13,269	
	返送率 (%)			26.9	19.4		19.2	
	循環水量 (m ³ /日)			14,160	17,402		17,224	
	循環率 (%)			30.3	34.5		25.4	
	滞留時間(Q) (時間)			9.4	8.7		9.5	
	滞留時間(Q+R) (時間)			7.4	7.3		8.0	
	空気量 (m ³ /日)			201,842	213,837		222,269	
	下水量当り空気倍率 (倍)			4.3	4.2		3.2	
	除去BOD当り空気倍率 (倍)				41.0		30.3	
	除去BOD当り余剰汚泥発生量 (kg/kg)				0.5		0.3	
	活性汚泥性	MLSS (mg/L)			1,420	1,550		1,530
		SV (%)			22	22		24
	汚泥性	SVI			155	142		157
		RSSS (mg/L)			7,610	8,930		5,490
	MLDO 状	入口 (mg/L)			0.0	0.0		0.1
		出口 (mg/L)			1.8	1.8		1.9
		SRT (日)			9.4	10.8		15.0
		S A (日)			15.1	11.5		12.4
	BOD-SS負荷 (kg/kg・日)			0.17	0.20		0.20	
	BOD-容積負荷 (kg/m ³ ・日)			0.24	0.30		0.30	
	Ca・t(MLSS × 滞留時間)			13,104	13,138		14,229	
	PAC注入率 (pg/L)			200.0				
最沈殿池	終沈流出量 (m ³ /日)			47,112	51,249		68,580	
	余剰汚泥量 (m ³ /日)			383	321		483	
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)			18.7	20.9		24.9	
	越流負荷 (m ³ /m・日)			55.8	60.4		121.8	
	沈殿時間 (時間)			5.2	4.6		3.9	
急過速池	処理水量 (m ³ /日)			170,420				
	滞留時間 (時間)			0.06				
	容積負荷 (m ³ /m ³ ・日)			394.5				
塩素混和池	放流量 1 (m ³ /日)			151,309				
	塩素注入率 (mg/L)			2.5				
	滞留時間 (時間)			0.4				
	放流量 2(注2) (m ³ /日)			1,459				

(注1) 揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。

(注2) 放流量 2 は長岡京市(勝竜寺堀水)への送水水量であり、放流量 1 中の内訳量である。

(注3) 各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日の数値等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を算出した。

平成29年5月					平成29年6月				
A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系
144,400					159,157				
13,734					14,264				
0.6					0.5				
154,512					171,103				
	39,168	44,975	22,314	63,437		41,628	45,898	24,618	65,774
	264	277	135	419		286	278	140	424
	94.9	82.3	82.1	85.0		87.5	76.2	87.1	83.4
	0.7	0.7	0.8	0.7		0.7	0.8	0.7	0.8
	38,904	44,698	22,178	63,018		41,341	45,620	24,477	65,350
	11,157	8,586	4,262	12,158		11,695	8,797	4,661	12,523
	28.7	19.2	19.2	19.3		28.5	19.3	19.1	19.2
	8,600	10,544	4,666	13,250		7,075	10,375	5,215	13,142
	22.2	23.7	21.1	21.1		20.9	22.7	21.6	20.3
	10.3	10.0	10.3	10.3		10.2	9.9	9.4	10.1
	8.0	8.4	8.6	8.7		8.0	8.3	7.9	8.5
	120,313	182,579	83,180	207,643		117,748	172,601	92,002	207,648
	3.1	4.1	3.7	3.3		2.9	3.8	3.8	3.2
		38.1	34.4	29.5			29.8	27.6	25.0
		0.6	0.4	0.4			0.4	0.2	0.3
	1,430	1,480	1,350	1,440		1,330	1,290	1,470	1,470
	21	21	18	24		35	20	27	27
	145	142	136	164		261	159	184	180
	6,420	8,690	5,810	6,600		5,300	7,970	5,240	6,820
	0.1	0.1	0.1	0.1		0.1	0.1	0.1	0.2
	0.8	1.6	3.1	2.0		1.8	1.9	2.8	2.1
	7.7	13.8	13.2	17.1		12.4	11.4	18.5	14.4
	14.4	15.6	10.5	13.5		15.6	12.0	11.6	12.6
	0.21	0.19	0.21	0.20		0.23	0.28	0.19	0.24
	0.29	0.29	0.28	0.29		0.31	0.35	0.29	0.36
	15,080	14,865	13,575	15,091		13,826	13,095	13,776	15,029
380.0					140.0				
	38,450	44,444	22,025	62,595		40,961	45,334	24,323	64,930
	454	272	154	424		381	286	154	420
	17.0	18.1	18.0	22.7		17.3	18.5	19.9	23.6
	50.7	52.4	51.9	111.1		51.7	53.5	57.4	115.3
	5.7	5.3	5.5	4.2		5.6	5.3	4.9	4.1
170,423					186,153				
0.06					0.06				
394.5					430.9				
144,321					159,094				
2.5					2.4				
0.4					0.3				
1,439					1,426				

施設	年 月		平成29年7月				
			A系	B系	C系	D系	E系
沈砂池 揚水ポンプ	流入下水量 (m ³ /日)		159,829				
	場内返送水量 (m ³ /日)		14,757				
	滞留時間(注1) (時間)		0.5				
	揚水量 (m ³ /日)		172,595				
最 初 沈 殿 池	簡易処理量 (m ³ /日)		8,106	42,232	45,494	24,029	63,825
	生汚泥量 (m ³ /日)		50	304	276	139	410
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)		20.4	76.5	75.9	84.2	75.6
	沈殿時間 (時間)		3.0	0.8	0.8	0.8	0.8
生物反応 タンク	高級処理量 (m ³ /日)		8,073	41,928	45,217	23,889	63,415
	返送汚泥量 (m ³ /日)		4,452	14,828	8,690	4,572	12,175
	返送率 (%)		55.8	35.9	19.2	19.1	19.2
	循環水量 (m ³ /日)						
	循環率 (%)						
	滞留時間(Q) (時間)		12.2	10.7	10.0	9.4	10.3
	滞留時間(Q+R) (時間)		7.8	7.8	8.4	7.9	8.7
	空気量 (m ³ /日)		18,010	148,173	186,861	98,107	206,491
	下水量当り空気倍率 (倍)		2.2	3.6	4.2	4.1	3.3
	除去BOD当り空気倍率 (倍)		40.5		47.1	41.2	30.4
	除去BOD当り余剰汚泥発生量 (kg/kg)		0.7		0.4	0.4	0.4
	活 性 汚 泥 性 状	MLSS (mg/L)	1,180	1,340	1,420	1,390	1,410
		SV (%)	27	50	31	32	32
	汚 泥 性 状	SVI	220	373	220	228	228
		RSSS (mg/L)	3,230	4,880	7,990	5,090	6,130
	MLDO 入口	(mg/L)	0.2	0.2	0.0	0.1	0.2
		MLDO 出口 (mg/L)	1.5	2.0	1.5	2.1	1.8
	SRT (日)			12.1	14.0	18.9	17.6
	S A (日)		24.7	21.7	16.1	12.6	13.1
	BOD-SS負荷 (kg/kg・日)		0.10	0.13	0.17	0.20	0.19
BOD-容積負荷 (kg/m ³ ・日)		0.09	0.20	0.26	0.28	0.26	
Ca・t(MLSS × 滞留時間)		13,341	14,302	13,802	12,987	14,749	
PAC注入率 (pg/L)		290.0					
最 終 沈 殿 池	終沈流出量 (m ³ /日)		8,013	41,520	44,927	23,724	62,985
	余剰汚泥量 (m ³ /日)		72	408	290	166	430
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)		8.2	16.5	18.3	19.4	22.9
	越流負荷 (m ³ /m・日)		32.3	49.2	53.0	56.0	111.8
	沈殿時間 (時間)		9.1	5.9	5.3	5.0	4.2
急 過 速 池	処理水量 (m ³ /日)		166,548				
	滞留時間 (時間)		0.06				
	容積負荷 (m ³ /m ³ ・日)		385.5				
塩 素 混 和 池	放流量 1 (m ³ /日)		159,750				
	塩素注入率 (mg/L)		2.2				
	滞留時間 (時間)		0.3				
	放流量 2(注2) (m ³ /日)		1,439				

(注1)揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。

(注2)放流量 2 は長岡京市(勝竜寺堀水)への送水水量であり、放流量 1 中の内訳量である。

(注3)各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日の数値等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を算出した。

平成29年8月					平成29年9月				
A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系
163,755					154,956				
14,007					14,740				
0.5					0.6				
173,927					160,523				
10,610	46,088	49,524	23,096	65,687	10,587	44,110	45,532	22,346	61,780
50	325	274	143	412	50	305	277	138	407
26.7	78.1	81.8	83.1	79.5	26.0	77.9	77.7	81.8	77.1
2.3	0.8	0.8	0.7	0.8	2.4	0.8	0.8	0.8	0.8
10,560	45,762	49,250	22,955	65,275	10,536	43,804	45,255	22,208	61,373
5,683	16,922	9,505	4,373	12,560	5,685	16,706	8,776	4,221	11,852
53.9	37.4	19.3	19.1	19.2	54.0	38.4	19.4	18.9	19.3
9.1	9.8	9.2	9.3	10.1	9.7	10.2	10.0	10.2	10.7
5.9	7.1	7.7	7.8	8.4	6.3	7.4	8.4	8.6	9.0
27,475	156,012	194,500	86,607	207,108	27,911	140,731	185,147	82,437	197,690
2.6	3.4	4.0	3.8	3.2	2.7	3.2	4.1	3.7	3.2
24.7		48.7	51.2	31.6	47.2		56.6	41.2	34.8
0.5		0.9	0.4	0.5	1.2		0.9	0.3	0.5
1,370	1,220	1,310	1,310	1,310	1,220	1,160	1,260	1,160	1,290
27	52	28	28	32	20	48	30	22	30
197	424	217	213	246	159	409	237	193	235
3,990	4,310	7,860	4,800	5,490	3,430	4,320	7,610	3,900	5,290
0.2	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2
2.2	2.2	2.0	2.9	2.1	2.0	1.3	2.0	2.2	2.1
6.6	13.2	8.8	18.7	13.3	6.9	8.2	11.9	14.8	14.7
12.4	17.7	13.0	13.0	11.6	23.9	19.7	18.6	12.4	14.1
0.22	0.16	0.20	0.16	0.20	0.15	0.14	0.16	0.22	0.17
0.31	0.17	0.25	0.21	0.25	0.17	0.17	0.21	0.26	0.23
12,438	11,806	11,521	11,935	13,019	14,482	11,642	12,466	11,363	13,810
330.0					250.0				
10,356	45,319	48,913	22,828	64,819	10,320	43,272	44,939	22,052	60,899
205	459	337	128	456	217	696	316	156	475
10.6	18.0	20.0	19.6	23.5	10.5	17.2	18.4	18.0	22.1
41.8	53.7	57.7	56.5	115.1	41.6	51.3	53.0	52.0	108.1
6.9	5.4	4.9	5.0	4.1	6.9	5.6	5.3	5.5	4.4
171,774					151,163				
0.06					0.07				
397.6					349.9				
163,666					154,877				
2.2					2.0				
0.3					0.4				
1,417					1,445				

(注4)A系の簡易処理量、高級処理量は生物反応槽への汚水貯留量である。

施設	年 月		平成29年10月				
			A系	B系	C系	D系	E系
沈砂池 揚水ポンプ	流入下水量 (m ³ /日)		193,043				
	場内返送水量 (m ³ /日)		15,056				
	滞留時間(注1) (時間)		0.5				
	揚水量 (m ³ /日)		195,084				
最 初 沈 殿 池	簡易処理量 (m ³ /日)		8,550	48,224	52,873	28,750	71,482
	生汚泥量 (m ³ /日)		50	370	270	157	414
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)		20.8	73.7	69.3	75.3	69.8
	沈殿時間 (時間)		2.9	0.8	0.9	0.9	0.9
生物反応 タンク	高級処理量 (m ³ /日)		8,500	47,854	52,602	28,593	71,067
	返送汚泥量 (m ³ /日)		5,367	17,127	10,193	5,550	13,547
	返送率 (%)		63.2	37.3	19.4	19.3	19.1
	循環水量 (m ³ /日)		0				
	循環率 (%)		0.0				
	滞留時間(Q) (時間)		11.8	9.8	9.1	9.2	9.6
	滞留時間(Q+R) (時間)		7.3	7.1	7.6	7.7	8.0
	空気量 (m ³ /日)		17,669	121,702	160,173	84,915	180,385
	下水量当り空気倍率 (倍)		2.1	2.7	3.3	3.2	2.7
	除去BOD当り空気倍率 (倍)		30.5		34.4	33.8	41.4
	除去BOD当り余剰汚泥発生量 (kg/kg)		1.6		0.2	0.2	0.5
	活 性 汚 泥 性 状	MLSS (mg/L)	1,170	1,100	1,270	1,130	1,190
		SV (%)	18	46	33	23	24
		SVI	156	413	261	200	198
		RSSS (mg/L)	3,280	4,030	5,440	3,840	5,220
		MLDO 入口 (mg/L)	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3
		MLDO 出口 (mg/L)	1.5	1.3	2.2	2.5	2.1
	SRT (日)		7.7	7.0	30.5	23.6	16.9
	S A (日)		63.9	17.8	14.2	12.2	13.3
	BOD-SS負荷 (kg/kg・日)		0.13	0.16	0.30	0.27	0.15
BOD-容積負荷 (kg/m ³ ・日)		0.15	0.17	0.40	0.27	0.17	
Ca・t(MLSS × 滞留時間)		13,321	10,944	11,705	9,900	11,618	
PAC注入率 (pg/L)		160.0					
最 終 沈 殿 池	終沈流出量 (m ³ /日)		8,352	47,304	52,376	28,445	70,643
	余剰汚泥量 (m ³ /日)		149	742	227	149	424
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)		8.3	18.8	21.4	20.1	25.7
	越流負荷 (m ³ /m・日)		32.9	56.0	61.8	57.9	125.4
	沈殿時間 (時間)		8.7	5.4	4.8	4.9	3.9
急 過 速 池	処理水量 (m ³ /日)		157,913				
	滞留時間 (時間)		0.07				
	容積負荷 (m ³ /m ³ ・日)		365.5				
塩 混 和 池	放流量 1 (m ³ /日)		192,956				
	塩素注入率 (mg/L)		2.0				
	滞留時間 (時間)		0.3				
	放流量 2(注2) (m ³ /日)		1,441				

(注1)揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。

(注2)放流量 2 は長岡京市(勝竜寺堀水)への送水水量であり、放流量 1 中の内訳量である。

(注3)各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日の数値等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を算出した。

(注4)A系の簡易処理量、高級処理量は生物反応槽への汚水貯留量である。

平成29年11月					平成29年12月				
A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系
151,706					140,033				
14,389					14,241				
0.6					0.6				
153,377					141,487				
8,408	44,238	43,449	45,312	29,936	8,383	29,235	40,938	26,875	53,860
51	303	277	277	207	51	218	276	170	355
21.1	81.3	80.8	85.8	79.6	21.1	81.5	74.7	84.1	80.4
2.8	0.8	0.8	0.7	0.8	2.8	0.8	0.8	0.7	0.8
8,356	43,935	43,172	45,034	29,729	8,332	29,017	40,661	26,705	53,505
5,112	17,030	8,306	8,653	5,832	4,195	12,221	7,813	5,098	10,316
61.2	38.8	19.2	19.2	19.6	50.3	42.2	19.2	19.1	19.3
						14,103	25,994	13,605	28,097
						54.2	63.0	56.2	48.9
11.5	10.1	10.3	9.9	11.4	11.5	10.2	11.0	10.1	11.2
7.1	7.3	8.7	8.3	9.5	7.7	7.2	9.2	8.5	9.3
19,530	127,588	157,843	160,010	93,235	21,445	88,107	151,109	93,967	175,044
2.3	2.9	3.7	3.6	3.1	2.6	3.1	3.7	3.5	3.3
32.3		45.2	40.0	41.4	38.0		36.2	38.4	32.4
1.0		0.2	0.2	0.4	1.2		0.2	0.8	0.4
1,270	1,400	1,370	1,320	1,320	1,290	1,390	1,320	1,330	1,470
19	53	26	23	25	18	35	21	24	27
153	373	190	173	189	139	251	159	180	180
3,750	4,720	4,900	4,260	5,390	3,920	4,230	5,250	5,380	7,240
0.1	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
1.3	1.6	1.9	2.2	1.9	1.6	1.2	2.1	2.5	2.2
7.7	10.6	24.2	21.8	15.7	7.4	9.4	21.3	14.8	17.8
21.1	19.7	15.6	12.7	13.3	15.3	17.0	15.5	13.0	12.5
0.12	0.14	0.15	0.17	0.17	0.11	0.18	0.18	0.18	0.16
0.15	0.17	0.21	0.22	0.22	0.14	0.25	0.24	0.24	0.24
14,594	14,358	14,015	12,977	16,174	14,936	14,231	14,448	13,323	16,096
140.0					330.0				
8,190	43,391	42,864	44,698	29,499	8,160	28,616	40,424	26,503	53,142
166	742	308	337	230	172	429	238	202	363
13.9	17.2	17.5	18.3	21.1	16.7	17.2	16.5	17.9	21.2
55.1	51.4	50.6	52.7	103.0	65.8	51.4	47.7	51.6	103.6
5.7	5.6	5.5	5.3	4.7	4.3	5.7	5.8	5.4	4.6
170,383					156,919				
0.06					0.07				
394.4					363.2				
151,641					139,980				
2.0					2.1				
0.4					0.4				
1,448					1,443				

施設	年 月		平成30年1月				
			A系	B系	C系	D系	E系
沈砂池 揚水ポンプ	流入下水量 (m ³ /日)		138,878				
	場内返送水量 (m ³ /日)		14,186				
	滞留時間(注1) (時間)		0.6				
	揚水量 (m ³ /日)		140,208				
最 初 沈 殿 池	簡易処理量 (m ³ /日)		8,434		41,877	22,566	61,986
	生汚泥量 (m ³ /日)		50		278	139	393
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)		21.2		77.1	83.9	81.2
	沈殿時間 (時間)		2.8		0.8	0.7	0.8
生物反応 タンク	高級処理量 (m ³ /日)		8,384		41,599	22,427	61,593
	返送汚泥量 (m ³ /日)		4,214		9,600	5,056	14,152
	返送率 (%)		50.3		23.3	23.1	23.3
	循環水量 (m ³ /日)				41,426	19,843	38,487
	循環率 (%)				100.8	90.4	63.3
	滞留時間(Q) (時間)		11.4		10.7	9.9	10.6
	滞留時間(Q+R) (時間)		7.6		8.7	8.1	8.6
	空気量 (m ³ /日)		23,048		154,211	78,380	191,580
	下水量当り空気倍率 (倍)		2.8		3.7	3.5	3.1
	除去BOD当り空気倍率 (倍)		35.3		40.4	36.3	30.7
	除去BOD当り余剰汚泥発生量 (kg/kg)		1.2		0.5	0.4	0.7
	活 性 汚 泥 性 状	MLSS (mg/L)	1,520		1,480	1,440	1,640
		SV (%)	23		29	26	43
		SVI	148		188	177	261
		RSSS (mg/L)	4,610		6,140	5,840	7,880
		MLDO 入口 (mg/L)	0.0		0.1	0.1	0.2
		MLDO 出口 (mg/L)	1.8		2.3	2.6	2.6
	SRT (日)		7.6		17.5	14.6	10.2
	S A (日)		21.7		20.8	12.9	12.7
	BOD-SS負荷 (kg/kg・日)		0.12		0.15	0.17	0.16
BOD-容積負荷 (kg/m ³ ・日)		0.19		0.21	0.25	0.24	
Ca・t (MLSS × 滞留時間)		17,231		15,578	13,894	17,506	
PAC注入率 (pg/L)		810.0					
最 初 沈 殿 池	終沈流出量 (m ³ /日)		8,222		41,306	22,261	61,042
	余剰汚泥量 (m ³ /日)		163		293	166	552
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)		16.8		16.9	18.2	22.2
	越流負荷 (m ³ /m・日)		66.3		48.7	52.5	108.4
	沈殿時間 (時間)		4.3		5.7	5.3	4.3
急 過 速 池	処理水量 (m ³ /日)		154,945				
	滞留時間 (時間)		0.07				
	容積負荷 (m ³ /m ³ ・日)		358.7				
塩 混 和 池	放流量 1 (m ³ /日)		138,832				
	塩素注入率 (mg/L)		2.1				
	滞留時間 (時間)		0.4				
	放流量 2(注2) (m ³ /日)		1,437				

(注1) 揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。

(注2) 放流量 2 は長岡京市(勝竜寺堀水)への送水水量であり、放流量 1 中の内訳量である。

(注3) 各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日の数値等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を算出した。

平成30年2月					平成30年3月				
A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系
136,772					148,643				
13,834					13,787				
0.6					0.6				
138,409					151,090				
8,851	34,832	40,997	22,306	61,033	8,413	44,234	45,216	24,220	66,395
49	264	275	139	395	48	374	276	140	402
22.2	85.8	75.3	84.5	83.0	21.1	81.3	72.9	85.8	83.9
2.7	0.7	0.8	0.7	0.7	2.8	0.7	0.9	0.7	0.7
8,801	34,568	40,721	22,167	60,637	8,365	43,860	44,940	24,080	65,993
4,402	11,755	10,174	5,499	11,682	4,218	12,649	11,560	6,173	13,386
50.0	36.8	25.2	24.9	19.3	50.4	28.9	25.8	25.5	20.3
	26,233	38,218	18,359	34,998		22,890	29,669	14,414	27,135
	74.8	94.3	83.1	58.2		52.6	67.8	61.2	41.5
11.0	7.4	10.9	10.0	10.7	11.5	5.1	10.0	9.3	9.9
7.3	5.3	8.8	8.1	9.0	7.6	3.9	8.0	7.5	8.2
22,942	85,783	149,251	78,829	191,619	22,159	173,413	168,624	91,103	207,591
2.6	2.5	3.7	3.6	3.2	2.6	4.0	3.8	3.8	3.2
41.6	32.3	46.0	41.3	35.7	49.0	40.8	35.7	36.9	30.9
1.9	0.3	0.4	0.5	0.7	1.4	0.5	0.3	0.4	0.6
1,380	1,410	1,460	1,340	1,480	1,290	1,310	1,480	1,360	1,510
20	29	18	16	24	17	26	18	15	21
147	202	124	116	163	133	197	122	109	141
4,200	5,080	5,360	4,660	7,320	3,880	6,350	5,080	4,440	7,100
0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1
1.3	1.3	2.1	2.7	2.1	1.3	1.9	2.5	2.6	1.9
6.0	8.4	16.3	15.9	12.1	7.2	7.5	17.2	16.6	10.4
29.8	10.5	15.7	14.2	12.8	33.0	8.7	13.7	12.3	11.5
0.12	0.25	0.14	0.17	0.14	0.09	0.32	0.19	0.19	0.17
0.16	0.34	0.19	0.21	0.22	0.12	0.48	0.28	0.26	0.25
15,174	9,435	16,194	13,326	15,693	14,957	6,583	14,168	12,044	14,713
470.0					230.0				
8,597	34,156	40,423	22,002	60,197	8,177	43,474	44,629	23,918	65,468
204	413	299	166	457	189	386	311	163	526
17.6	16.7	16.5	18.0	21.9	16.7	17.3	18.2	19.5	23.8
69.3	49.8	47.7	51.9	106.9	65.9	51.5	52.6	56.4	116.2
4.1	5.8	5.8	5.3	4.4	4.3	5.6	5.3	5.0	4.1
160,039					140,061				
0.07					0.07				
370.5					324.2				
136,724					148,595				
2.2					2.5				
0.4					0.4				
1,435					1,428				

施設	項目	年間平均値(注4)					
		A系	B系	C系	D系	E系	
沈砂池 揚水ポンプ	流入下水量 (m ³ /日)	153,546					
	場内返送水量 (m ³ /日)	14,202					
	滞留時間(注1) (時間)	0.6					
	揚水量 (m ³ /日)	159,188					
最初 沈殿池	簡易処理量 (m ³ /日)	8,927	41,987	45,718	26,039	61,223	
	生汚泥量 (m ³ /日)	-	308	276	156	388	
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)	-	82.1	77.7	83.4	80.4	
	沈殿時間 (時間)	-	0.8	0.8	0.7	0.8	
生物反応 タンク	高級処理量 (m ³ /日)	8,879	41,679	45,442	25,883	60,835	
	返送汚泥量 (m ³ /日)	-	14,074	9,333	5,283	11,954	
	返送率 (%)	-	34.5	20.7	20.6	19.7	
	循環水量 (m ³ /日)	-	13,294	24,804	12,684	24,619	
	循環率 (%)	-	36.4	58.1	55.6	39.8	
	滞留時間(Q) (時間)	-	9.4	10.0	9.7	10.4	
	滞留時間(Q+R) (時間)	-	7.0	8.3	8.1	8.7	
	空気量 (m ³ /日)	-	134,674	173,061	93,594	190,692	
	下水量当り空気倍率 (倍)	-	3.2	3.9	3.7	3.2	
	除去BOD当り空気倍率 (倍)	-	36.6	41.6	38.4	32.8	
	除去BOD当り余剰汚泥発生量 (kg/kg)	-	0.4	0.5	0.4	0.5	
	活性汚泥性	MLSS (mg/L)	-	1,320	1,390	1,330	1,420
		SV (%)	-	38	25	23	28
		SVI	-	291	180	174	195
		RSSS (mg/L)	-	5,200	6,770	4,840	6,330
		MLDO 入口 (mg/L)	-	0.1	0.1	0.1	0.2
		MLDO 出口 (mg/L)	-	1.6	2.0	2.6	2.1
		SRT (日)	-	9.6	16.5	17.4	14.6
		S A (日)	-	16.2	15.2	12.5	12.8
		BOD-SS負荷 (kg/kg・日)	-	0.19	0.19	0.19	0.18
	BOD-容積負荷 (kg/m ³ ・日)	-	0.25	0.27	0.25	0.25	
	Ca・t(MLSS × 滞留時間)	-	12,301	13,750	12,645	14,811	
	PAC注入率 (pg/L)	310.8					
最終 沈殿池	終沈流出量 (m ³ /日)	8,710	41,234	45,152	25,707	60,400	
	余剰汚泥量 (m ³ /日)	-	499	292	176	437	
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)	-	17.4	18.4	18.8	23.0	
	越流負荷 (m ³ /m・日)	-	52.0	53.3	54.3	112.2	
	沈殿時間 (時間)	-	5.6	5.3	5.2	4.2	
急過 速池	処理水量 (m ³ /日)	163,062					
	滞留時間 (時間)	0.07					
	容積負荷 (m ³ /m ³ ・日)	377.5					
塩素 混合池	放流量 1 (m ³ /日)	153,479					
	塩素注入率 (mg/L)	2.2					
	滞留時間 (時間)	0.4					
	放流量 2(注2) (m ³ /日)	1,438					

(注1) 揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。

(注2) 放流量 2 は長岡京市(勝竜寺堀水)への送水水量であり、放流量 1 中の内訳量である。

(注3) 各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日の数値等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を求めたものを年間で平均した。

(注4) 年間平均値は月平均の平均を表す。

(6) 流入下水・放流水質の経年変化

試料名 試験項目		流入下水											
		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度			
		年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均		
P	H		7.6	7.3	7.7	7.3	7.5	7.3	7.7	7.4	7.7	7.3	
		(年最小)	(7.1)		(7.1)		(7.1)		(7.0)		(6.9)		
B	O	D	(mg/L)	156	124	163	122	195	119	178	132	204	136
S		S	(mg/L)	168	109	148	102	178	97	188	113	150	108
大腸菌群数			(個/cm ³)	1,100,000	190,000	550,000	170,000	240,000	140,000	350,000	170,000	570,000	170,000
全窒素			(mg/L)	27.1	22.8	27.6	22.7	31.7	22.3	30.5	23.8	28.1	23.2
全りん			(mg/L)	3.34	2.56	3.46	2.50	3.81	2.45	3.40	2.57	3.41	2.46
カドミウム			(mg/L)	< 0.003	< 0.003	< 0.003	< 0.003	< 0.001	< 0.001	< 0.003	< 0.003	< 0.003	< 0.003
シアン			(mg/L)	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05
有機りん			(mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
鉛			(mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006
六価クロム			(mg/L)	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04
ひ素			(mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
総水銀			(mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
アルキル水銀			(mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
PCB			(mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
トリクロロエチレン			(mg/L)	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008
テトラクロロエチレン			(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
シクロロメタン			(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
四塩化炭素			(mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,2-シクロロエタン			(mg/L)	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004
1,1-シクロロエチレン			(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
シス-1,2-シクロロエチレン			(mg/L)	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004
1,1,1-トリクロロエタン			(mg/L)	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03
1,1,2-トリクロロエタン			(mg/L)	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006
1,3-シクロプロパン			(mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
チウラム			(mg/L)	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006
シマジン			(mg/L)	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003
チオベンカルブ			(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
ベンゼン			(mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
セレン			(mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
ほう素			(mg/L)	0.12	0.10	0.17	0.10	0.12	0.10	0.12	0.10	0.13	0.10
ふっ素			(mg/L)	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	0	0
アンモニア性窒素等含有量			(mg/L)	6.7	5.3	6.9	5.5	7.1	5.5	7.3	5.6	17.0	13.7
1,4-ジオキサン			(mg/L)	< 0.005	< 0.005	0.019	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
ダイオキシン類			(pg-TEQ/L)	0.20	0.20	0.14	0.14	0.09	0.09	0.15	0.15	0.35	0.35
油分(鉱油類含有量)			(mg/L)	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5
油分(動植物油脂類含有量)			(mg/L)	18	18	20	14	16	12	16	9.3	22	9
フェノール類			(mg/L)	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	0	< 0.02
銅			(mg/L)	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	0.03	0.03	< 0.02
亜鉛			(mg/L)	0.07	0.06	0.07	0.07	0.07	0.06	0.07	0.06	0.08	0.04
溶解性鉄			(mg/L)	0.20	0.16	0.28	0.21	0.29	0.23	0.31	0.25	0.23	0.10
溶解性マンガン			(mg/L)	0.07	0.06	0.15	0.08	0.17	0.10	0.10	0.08	0.07	0.03
全クロム			(mg/L)	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03
ニッケル			(mg/L)	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05
硫酸イオン			(mg/L)	31.4	27.8	28.3	26.6	31.4	26.9	29.4	25.5	28.9	22.9
よう素消費量			(mg/L)	15.2	8.0	11.9	8.2	13.6	7.8	11.8	8.9	13.7	7.1

(注) 年最大、年平均はそれぞれ全データの最大、全データの平均を表す。

試験項目	試料名 年度	放 流 水									
		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
		年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均
p H		7.3	6.9	7.3	6.9	7.4	6.9	7.2	6.9	7.6	7.0
	(年最小)	(6.5)		(6.4)		(6.6)		(6.6)		(6.6)	
B O D	(mg/L)	4.3	2.4	5.9	2.5	6.1	2.2	5.4	2.7	5.3	2.6
S S	(mg/L)	2	< 1	5	< 1	1	< 1	3	< 1	1	< 1
大腸菌群数	(個/cm ³)	140	5	160	5	94	3	8	1	14	1
全窒素	(mg/L)	11.7	9.4	11.5	8.8	11.0	8.9	11.0	8.7	9.9	8.2
全りん	(mg/L)	1.77	1.20	1.96	1.33	1.70	1.25	1.82	1.21	1.96	1.26
カドミウム	(mg/L)	< 0.003	< 0.003	< 0.003	< 0.003	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
シアン	(mg/L)	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05
有機りん	(mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
鉛	(mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.006	< 0.006	< 0.006	< 0.006	0.014	< 0.006
六価クロム	(mg/L)	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04
ひ素	(mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
総水銀	(mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
アルキル水銀	(mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
P C B	(mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
トリクロロエチレン	(mg/L)	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008
テトラクロロエチレン	(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
シクロロメタン	(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
四塩化炭素	(mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,2-シクロロエタン	(mg/L)	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004
1,1-シクロロエチレン	(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
シス-1,2-シクロロエチレン	(mg/L)	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006
1,3-シクロプロペン	(mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
チウラム	(mg/L)	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006
シマジン	(mg/L)	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003
チオベンカルブ	(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
ベンゼン	(mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
セレン	(mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
ほう素	(mg/L)	0.11	0.10	0.11	0.09	0.20	0.10	0.12	0.10	0.13	0.10
ふっ素	(mg/L)	1.0	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1
アンモニア性窒素等含有量	(mg/L)	10.2	8.1	10.1	7.5	9.7	7.6	10.0	7.3	8.7	7.0
1,4-ジオキサン	(mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
ダイオキシン類	(pg-TEQ/L)	0.00029	0.00029	0.00036	0.00036	0.00017	0.00017	0.00017	0.00017	0.00023	0.00023
油分(鉱油類含有量)	(mg/L)	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5
油分(動植物油類含有量)	(mg/L)	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5
フェノール類	(mg/L)	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02
銅	(mg/L)	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02
亜鉛	(mg/L)	0.04	0.03	0.06	0.03	0.30	0.04	0.04	0.04	0.06	0.04
溶解性鉄	(mg/L)	< 0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	0.1	< 0.08
溶解性マンガン	(mg/L)	0.04	0.03	0.05	0.03	0.11	0.04	0.07	0.04	0.08	0.03
全クロム	(mg/L)	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03
ニッケル	(mg/L)	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05
陰イオン界面活性剤	(mg/L)	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
非イオン界面活性剤	(mg/L)	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02
COD汚濁負荷量	(kg/日)	2846.1	1100.6	2123.2	1107.9	3959.1	1117.4	2089.3	1142.9	3318.6	1127.2
T-N汚濁負荷量	(kg/日)	2071.3	1007.0	1588.7	1016.3	2899.8	1106.9	1866.6	1070.8	3332.0	1048.7
T-P汚濁負荷量	(kg/日)	285.80	126.26	318.93	137.94	351.91	136.10	460.35	135.29	318.45	137.58

(注) 年最大、年平均はそれぞれ全データの最大、全データの平均を表す。